

スポーツ健康科学科と同分野を有する近隣大学の志願動向

大学名	入学 定員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科	80名	139名 1.74倍	91名 1.14倍	118名 1.48倍
環太平洋大学 体育学部体育学科、健康科学科	360名	874名 2.43倍	679名 1.89倍	750名 2.08倍
吉備国際大学 社会科学部スポーツ社会学科	80名	71名 0.89倍	75名 0.94倍	52名 0.65倍
倉敷芸術科学大学 生命科学部健康科学科	55名	107名 1.95倍	88名 1.60倍	91名 1.38倍
広島国際大学 健康スポーツ学部健康スポーツ学科	70名	276名 3.94倍	353名 5.04倍	289名 4.13倍
広島文化学園大学 人間健康学部スポーツ健康福祉学科	150名	188名 1.25倍	177名 1.18倍	215名 1.43倍
聖カタリナ大学 人間健康福祉学部健康スポーツ学科	60名	72名 1.20倍	58名 0.97倍	66名 1.10倍

※上段は志願者数、下段は志願倍率、旺文社の大学受験パスナビより作成

看護学科と同分野を有する近隣大学の志願動向

大学名	入学 定員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
広島大学 医学部保健学科看護学専攻	60名	133名 2.22倍	110名 1.83倍	117名 1.95倍
県立広島大学 保健福祉学部看護学科看護学コース	58名	228名 3.93倍	242名 4.17倍	304名 5.24倍
日本赤十字広島看護大学 看護学部看護学科	125名	547名 4.38倍	488名 3.90倍	496名 3.97倍
広島国際大学 看護学部看護学科	120名	692名 5.77倍	563名 4.69倍	604名 5.03倍
広島都市学園大学 健康科学部看護学科	100名	253名 2.53倍	214名 2.14倍	199名 1.99倍
広島文化学園大学 看護学部看護学科	110名	220名 2.00倍	180名 1.34倍	157名 1.43倍
安田女子大学 看護学部看護学科	120名	728名 6.07倍	851名 7.09倍	780名 6.50倍
山口大学 医学部保健学科看護学専攻	80名	261名 3.27倍	343名 4.29倍	357名 4.47倍
山口県立大学 看護栄養学部看護学科	55名	269名 4.89倍	268名 4.87倍	217名 3.95倍
宇部フロンティア大学 人間健康学部看護学科	80名	133名 1.41倍	116名 1.45倍	126名 1.58倍

※上段は志願者数、下段は志願倍率、旺文社の大学受験パスナビより作成

福祉学科と同分野を有する近隣大学の志願動向

大学名	入学定員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
(国) 島根大学 人間科学科社会福祉コース	80名	292名 3.65倍	365名 4.56倍	302名 3.78倍
(公) 岡山県立大学 保健福祉学部現代福祉学科 (※令和2年度の定員は40名)	35名	107名 2.68倍	191名 5.46倍	144名 4.11倍
(公) 新見公立大学 健康科学部地域福祉学科	50名	231名 4.62倍	391名 7.82倍	198名 3.96倍
(公) 県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース	40名	167名 4.18倍	99名 2.48倍	134名 3.35倍
(公) 山口県立大学 社会福祉学部社会福祉学科	103名	350名 3.40倍	309名 3.00倍	385名 3.74倍
(公) 高知県立大学 社会福祉学部社会福祉学科	70名	353名 5.04倍	337名 4.81倍	325名 4.64倍
(私) 美作大学 生活科学部社会福祉学科	50名	42名 0.84倍	71名 1.42倍	63名 1.26倍
(私) 川崎医療福祉大学 国際福祉学部医療福祉学科	136名	165名 1.21倍	153名 1.13倍	93名 0.68倍
(私) 広島文教大学 人間科学部人間福祉学科	60名	223名 3.72倍	240名 4.00倍	212名 3.53倍
(私) 広島国際大学 健康科学部医療福祉学科	100名	166名 1.66倍	160名 1.60倍	114名 1.14倍
(私) 四国学院大学 社会福祉学部社会福祉学科	80名	123名 1.54倍	114名 1.43倍	124名 1.55倍
(私) 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科	60名	41名 0.68倍	51名 0.85倍	46名 0.77倍
合計	864名	2260名 2.60倍	2481名 2.87倍	2140名 2.48倍

※上段は志願者数、下段は志願倍率

「大学受験パスナビ (<https://passnavi.evidus.com/>)」(旺文社)を加工して作成

競合校の志願動向の状況（スポーツ健康科学科）

表1：スポーツ健康科学科と同分野を有する西日本の国公立大学の志願動向

大学名	募集 人員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
鹿屋体育大学 体育学部体育学科	60名	192名 3.20倍	182名 3.03倍	213名 3.55倍
名桜大学 人間健康学部スポーツ健康学科	50名	335倍 6.70倍	303名 6.06倍	298名 5.96倍

※一般選抜のみ、上段は志願者数、下段は志願倍率、旺文社の大学受験パスナビより作成

表2：保健体育教員免許状を取得できる近隣の国立大学の志願動向

大学名	募集 人員	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
島根大学 教育学部 学校教育課程保健体育科教育専攻	7名	40名 5.71倍	47名 6.71倍	19名 2.71倍
広島大学 教育学部 第四類（生涯活動教育系） 健康スポーツ系コース	20名	72名 3.60倍	65名 3.25倍	74名 3.70倍
山口大学 教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース保健体育専修	6名 (注1)	24名 3.42倍	22名 3.14倍	14名 2.33倍
鳴門教育大学 教育学部 学校教育教員養成課程 体育科・保健体育科教育コース	6名	31名 5.17倍	20名 3.33倍	44名 7.33倍
愛媛大学 教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース保健体育専攻	29名 (注2)	6名	10名	15名
高知大学 教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育教育コース	6名	18名 3.00倍	14名 2.33倍	20名 3.33倍

(注1) 令和3年度以前の募集人員は7名

(注2) 中等教育コースでの全体での募集人員のため志願倍率は記載しない

※一般選抜のみ、上段は志願者数、下段は志願倍率、旺文社の大学受験パスナビより作成

競合校における入学志願状況（看護学科）

No.	国立 /公立	所在地	大学名	学部名	学科・専攻等名	入学 定員	入学者数 (入学定員充足率)			一般選抜試験の直近3年間の志願状況												
							2022 年度	2021 年度	2020 年度	募集 定員	2022年度入試				2021年度入試				2020年度入試			
											志願 者数	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	志願 者数	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	志願 者数	受験 者数	受験 倍率	合格 者数
1	国立	鳥取県	鳥取大学	医学部	保健学科看護学専攻	80	81 (1.01)	82 (1.03)	81 (1.01)	50	242	161	2.93	55	185	105	1.88	56	163	102	1.79	57
2	国立	島根県	島根大学	医学部	看護学科	60	60 (1.00)	60 (1.00)	62 (1.03)	42	322	151	3.28	46	126	50	1.11	45	255	116	2.42	48
3	国立	岡山県	岡山大学	医学部	保健学科看護学専攻	80	76 (0.95)	76 (0.95)	79 (0.99)	53	136	86	1.37	63	116	76	1.25	61	101	73	1.22	60
4	国立	広島県	広島大学	医学部	保健学科看護学専攻	60	63 (1.05)	64 (1.07)	58 (0.97)	52	103	97	1.59	61	97	90	1.50	60	116	108	1.86	58
5	国立	山口県	山口大学	医学部	保健学科看護学専攻	80	80 (1.00)	80 (1.00)	80 (1.00)	70	306	135	1.75	77	299	152	1.92	79	210	103	1.29	80
6	公立	島根県	島根県立大学	看護栄養学部	看護学科	80	83 (1.04)	86 (1.08)	86 (1.08)	45	161	147	2.88	51	120	90	2.00	45	228	187	3.67	51
7	公立	岡山県	岡山県立大学	保健福祉学部	看護学科	40	41 (1.03)	41 (1.03)	41 (1.03)	28	174	109	3.52	31	151	91	3.25	28	94	48	1.71	28
8	公立	岡山県	新見公立大学	健康科学部	看護学科	80	85 (1.06)	84 (1.05)	83 (1.04)	55	284	147	2.07	71	465	256	3.76	68	391	221	3.16	70
9	公立	広島県	県立広島大学	保健福祉学部	保健福祉学科看護学コース	60	60 (1.00)	61 (1.02)	61 (1.02)	37	239	145	3.45	42	182	114	2.71	42	157	85	1.93	44
10	公立	山口県	山口県立大学	看護栄養学部	看護学科	55	56 (1.02)	55 (1.00)	55 (1.00)	28	130	92	3.17	29	181	91	2.94	31	179	117	3.90	30
合計						675	685 (1.01)	689 (1.02)	686 (1.02)	460	2097	1270	2.76	526	1922	1115	2.42	515	1894	1160	2.52	526

一般選抜試験の直近3年間の平均志願状況

募集定員	460	
志願者数	1971	(2097+1922+1894) ÷ 3
受験者数	1182	(1270+1115+1160) ÷ 3
合格者数	522	(526+515+526) ÷ 3

選抜試験全体

入学定員	675	
入学者数	687	(685+689+686) ÷ 3
入学定員充足率	101.7	

競合校における入学志願状況（福祉学科）

No.	国立 /公立	所在地	大学名	学部名	学科・専攻等名	入学 定員	入学者数 (入学定員充足率)			一般選抜試験の直近3年間の志願状況												
							2022 年度	2021 年度	2020 年度	募集 定員	2022年度入試				2021年度入試				2020年度入試			
											志願 者数	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	志願 者数	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	志願 者数	受験 者数	受験 倍率	合格 者数
1	国立	島根県	島根大学	人間科学部	人間科学科社会福祉コース	80	81 (1.01)	86 (1.08)	85 (1.06)	55	227	150	2.31	65	278	195	3.05	64	215	163	2.36	69
2	公立	岡山県	岡山県立大学	保健福祉学部	現代福祉学科	35	39 (1.11)	38 (1.09)	41 (1.17)	21	84	42	1.56	27	115	76	3.17	24	70	49	1.48	33
3	公立	岡山県	新見公立大学	健康科学部	地域福祉学科	50	53 (1.06)	59 (1.18)	54 (1.08)	32	163	96	2.18	44	303	206	4.38	47	181	109	2.79	39
4	公立	広島県	県立広島大学	保健福祉学部	保健福祉学科人間福祉学コース	40	40 (1.00)	42 (1.05)	42 (1.05)	25	108	77	2.66	29	76	49	1.69	29	140	82	2.65	31
5	公立	山口県	山口県立大学	社会福祉学部	社会福祉学科	103	104 (1.01)	104 (1.01)	106 (1.03)	54	303	185	2.68	69	223	122	1.91	64	257	130	1.97	66
6	公立	高知県	高知県立大学	社会福祉学部	社会福祉学科	70	75 (1.07)	74 (1.06)	78 (1.11)	40	285	205	4.10	50	278	191	4.24	45	299	218	4.54	48
7	公立	福岡県	福岡県立大学	人間社会学部	社会福祉学科	50	55 (1.10)	53 (1.06)	55 (1.10)	35	136	77	1.54	50	208	128	2.61	49	183	121	2.12	57
合計						428	447 (1.04)	456 (1.07)	461 (1.08)	262	1306	832	3.18	334	1481	967	3.69	322	1345	872	3.33	343

一般選抜試験の直近3年間の平均志願状況

募集定員	262	
志願者数	1377	(1306+1481+1345) ÷ 3
受験者数	890	(832+967+872) ÷ 3
合格者数	333	(334+322+343) ÷ 3

選抜試験全体

入学定員	428	
入学者数	455	(447+456+461) ÷ 3
入学定員充足率	1.063	

周南公立大学既存学部の過去5年間の入学志願状況

2022		志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	854	492	(28)	823	479	(27)	242	202	(1)	109	136.3%	122.6%
	ビジネス戦略	909	525	(30)	887	517	(30)	354	292	(1)	173	115.3%	
福祉情報	人間コミュニケーション	390	239	(19)	382	235	(18)	132	116	(0)	61	122.0%	122.0%
	合計	2153	1256	(77)	2092	1231	(75)	728	610	(2)	343	122.5%	122.5%

2021		志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	121	81	(3)	120	96	(3)	87	71	(3)	41	51.3%	70.4%
	ビジネス戦略	154	133	(1)	153	152	(1)	156	148	(2)	121	80.7%	
福祉情報	人間コミュニケーション	34	22	(2)	35	26	(2)	39	28	(2)	20	40.0%	40.0%
	合計	309	236	(6)	308	282	(6)	282	247	(7)	182	65.0%	65.0%

2020		志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	160	134	(8)	155	132	(8)	126	113	(4)	69	86.3%	116.5%
	ビジネス戦略	263	248	(9)	260	246	(9)	231	228	(5)	199	132.7%	
福祉情報	人間コミュニケーション	46	41	(1)	44	41	(1)	38	36	(1)	28	56.0%	56.0%
	合計	469	423	(18)	459	419	(18)	395	377	(10)	296	105.7%	105.7%

2019		志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	104	90	(5)	101	89	(5)	92	81	(1)	62	77.5%	110.4%
	ビジネス戦略	227	217	(5)	226	217	(5)	216	211	(1)	192	128.0%	
福祉情報	人間コミュニケーション	52	49	(0)	52	47	(0)	50	46	(0)	33	66.0%	66.0%
	合計	383	356	(10)	379	353	(10)	358	338	(1)	287	102.5%	102.5%

2018		志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	113	106	(1)	112	106	(1)	104	98	(1)	72	90.0%	109.6%
	ビジネス戦略	204	201	(0)	203	201	(0)	197	194	(0)	180	120.0%	
福祉情報	人間コミュニケーション	37	31	(1)	37	32	(1)	37	32	(1)	28	56.0%	56.0%
	合計	354	338	(2)	352	339	(2)	338	324	(2)	280	100.0%	100.0%

部活動指導員の制度化について

[資料28]

部活動指導員の制度化 (H29.4.1施行)

学校教育法施行規則 第七十八条の二

部活動指導員は、中学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動（中学校の教育課程として行われるものを除く。）に係る技術的な指導に従事する。

※ 義務教育学校の後期課程、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の中学部及び高等部については準用規定。

任用に当たっての体制整備

規則等の策定

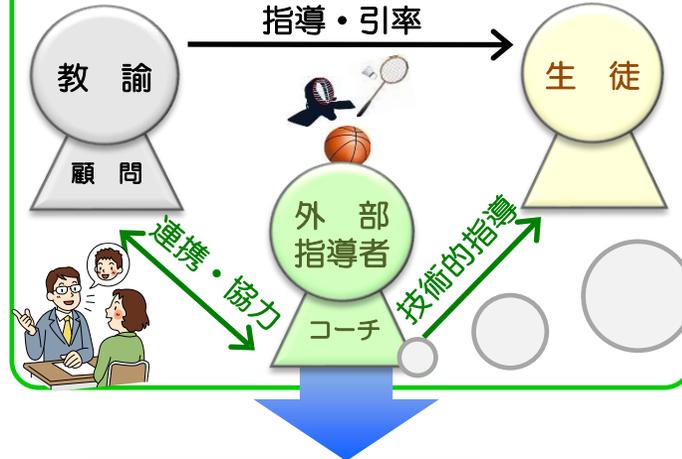
学校設置者は、身分、任用、職務、災害補償、服務等に関する事項等必要な事項を定めた部活動指導員に関する規則等を策定。

研修の実施

学校設置者及び学校は、部活動指導員に対し、部活動の位置付けと教育的意義等について、事前に研修を行うほか、その後も定期的に研修を行う。

外部指導者の活用（従来）

外部指導者は、顧問の教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。



部活動指導員の任用

<職務>

- ✓ 実技指導
- ✓ 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ✓ 学校外での活動(大会・練習試合等)の引率
- ✓ 用具・施設の点検・管理
- ✓ 部活動の管理運営(会計管理等)
- ✓ 保護者等への連絡
- ✓ 年間・月間指導計画の作成
- ✓ 生徒指導に係る対応
- ✓ 事故が発生した場合の学生確保(資料)対応等

部活動指導員は、部活動の顧問として技術的な指導を行うとともに、担当教諭等と日常的に指導内容や生徒の様子、事故が発生した場合の対応等について情報交換を行う等の連携を十分に図る。

ケース1 部活動指導員が顧問



ケース2 部活動指導員及び教諭が顧問



学校部活動及び新たな地域クラブ活動の 在り方等に関する総合的なガイドライン

令和4年12月

スポーツ庁

文化庁



ーツ・文化芸術活動を行える環境となり、地域全体としてより幅広いニーズに応えられるようになること、生涯を通じた運動習慣作りや文化芸術等の愛好が促進されること、行政やスポーツ・文化芸術団体、学校等との緊密な連携や、指導者等の活用が充実することが期待できる。

2 適切な運営や効率的・効果的な活動の推進

(1) 参加者

従来の学校部活動に所属していた生徒はもとより、学校部活動に所属していない生徒、運動や歌、楽器、絵を描くことなどが苦手な生徒、障害のある生徒など、希望する全ての生徒を想定する。

(2) 運営団体・実施主体

① 地域スポーツ・文化芸術団体等の整備充実

【地域スポーツ団体等】

ア 市区町村は、関係者の協力を得て、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実を支援する。その際、運営団体・実施主体は、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団¹³、体育・スポーツ協会、競技団体、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、フィットネスジム、大学など多様なものを想定する。また、地域学校協働本部や保護者会、同窓会、複数の学校の運動部が統合して設立する団体など、学校と関係する組織・団体も想定する。なお、市区町村が運営団体となることも想定される。

イ 都道府県及び市区町村並びに JSPO をはじめとしたスポーツ団体等は、『スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>』を運営団体・実施主体等に対して広く周知・徹底する。また、運営団体・実施主体は、『スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>』に準拠した運営を行うことが求められる。

【地域文化芸術団体等】

市区町村は、関係者の協力を得て、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の

¹³ JSPO においては、令和4年4月から、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の運用を47都道府県で開始している。また、総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団が融合した取組を検討している。

整備充実を支援する。その際、運営団体・実施主体は、文化芸術団体等に加え、地域学校協働本部や保護者会、同窓会、複数の学校の文化部が統合して設立する団体など、学校と関係する組織・団体も想定する。なお、市区町村が運営団体となることも想定される。

② 関係者間の連携体制の構築等

ア 都道府県及び市区町村は、首長部局や教育委員会の中の地域スポーツ・文化振興担当部署や社会教育・生涯学習担当部署、学校の設置・管理運営を担う担当部署、地域スポーツ・文化芸術団体、学校、保護者等の関係者からなる協議会などにおいて、定期的・恒常的な情報共有・連絡調整を行い、緊密に連携する体制を整備する。

イ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、例えば、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会の日程等）及び毎月の活動計画（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を策定し、公表する。その際、協議会等の場も活用し、地域におけるスポーツ・文化芸術団体等での活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含む管理責任の主体を明確にし、共通理解を図る。

(3) 指導者

① 指導者の質の保障

【地域スポーツクラブ活動】

ア 都道府県及び市区町村は、生徒にとってふさわしい地域スポーツ環境を整備するため、各地域において、専門性や資質・能力を有する指導者を確保する。

また、スポーツ団体等は、生徒の多様なニーズに応えられる指導者の養成や資質向上の取組を進める。

イ JSPO は、より多くの指導者が自ら公認スポーツ指導者資格取得を目指すような制度設計に取り組む。その際、指導技術の担保や生徒の安全・健康面の配慮など、生徒への適切な指導力等の質のみならず、暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラスメント等の行為も根絶する。

ウ 公益財団法人日本パラスポーツ協会及び各競技団体は、障害者スポーツ指導資格の取得を促進するとともに、研修機会を充実する。

エ 指導者は、スポーツに精通したスポーツドクターや有資格のトレーナー等

と緊密に連携するなど、生徒を安全・健康管理等の面で支える。

オ スポーツ団体等は、指導者に暴力等の問題となる行動が見られた場合への対応について、自ら設ける相談窓口のほか、JSPO等の統括団体が設ける相談窓口を活用し、公平・公正に対処する。都道府県や市区町村などスポーツ団体とは別の第三者が相談を受け付け、各競技団体等と連携しながら対応する仕組みも必要に応じて検討する。

【地域文化クラブ活動】

ア 都道府県及び市区町村は、生徒にとってふさわしい文化芸術等に親しむ環境を整備するため、各地域において、専門性や資質・能力を有する指導者を確保する。また、文化芸術団体等は、生徒の多様なニーズに応えられる指導者の養成や資質向上の取組を進める。

イ 文化芸術団体等は、指導者の質を保障するための研修等実施の際、これまでの文化部活動の意義や役割について、地域単位の活動においても継承・発展させ、新しい価値が創出されるよう、学校教育関係者等と必要な連携をしつつ、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができるように留意する。特に、練習が過度な負担とならないようにするとともに、生徒の安全の確保や暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラスメント等の行為も根絶する。また、指導者に当該行為が見られた場合への公平・公正な対処について、自ら設ける相談窓口の設置及びその周知や、都道府県や市区町村など文化芸術団体とは別の第三者が相談を受け付け、各団体等と連携しながら対応する仕組みの検討等を進める。さらには、文化芸術活動で留意する必要がある著作権について研修等を行い、地域における文化芸術活動の中で指導者の理解を深める。

② 適切な指導の実施

ア 地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、I2(1)に準じ、参加者の心身の健康管理、事故防止を徹底し、体罰・ハラスメントを根絶する。都道府県及び市区町村は、適宜、指導助言を行う。

イ 指導者は、I2(1)に準じ、生徒との十分なコミュニケーションを図りつつ、適切な休養、過度の練習の防止や合理的かつ効率的・効果的な練習の積極的な導入等を行う。

また、専門的知見を有する保健体育担当の教師や養護教諭等の協力を得て、発達の個人差や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を修得する。

健康運動指導士とは

1. 健康運動指導士とは

個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び指導を行う者

健康運動指導士とは、保健医療関係者と連携しつつ安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う者をいいます。

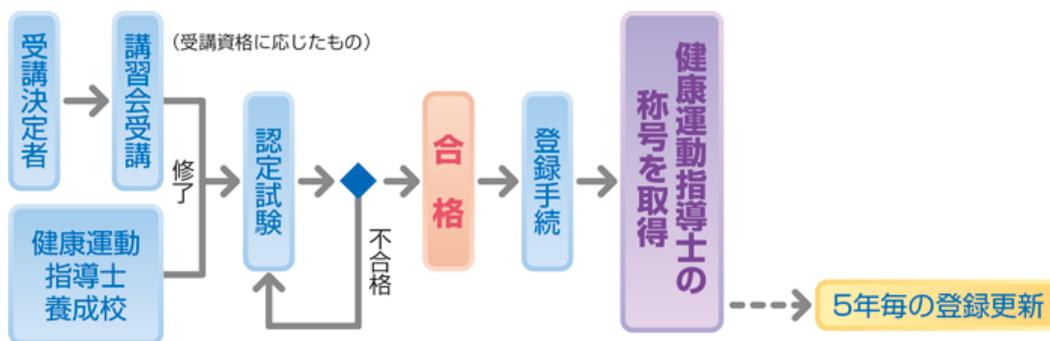
この健康運動指導士の養成事業は、昭和63年から厚生大臣の認定事業として、生涯を通じた国民の健康づくりに寄与する目的で創設され、生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進する観点から大きく貢献してまいりました。平成18年度からは、公益財団法人健康・体力づくり事業財団独自の事業として継続して実施しております。

今般の医療制度改革においては、生活習慣病予防が生涯を通じた個人の健康づくりだけでなく、中長期的な医療費適正化対策の柱の一つとして位置づけられており、今後展開される本格的な生活習慣病対策においては、一次予防に留まらず二次予防も含めた健康づくりのための運動を指導する専門家の必要性が増しており、とくに平成20年度から実施の特定健診・特定保健指導において運動・身体活動支援を担うことについて、健康運動指導士への期待がますます高まっているところです。

公益財団法人健康・体力づくり事業財団としては、平成19年度に健康運動指導士の養成カリキュラム、資格取得方法等に至るまで大幅な見直しを行なったことを踏まえ、ハイリスク者も対象にした安全で効果的な運動指導を行なうことのできる専門家を目指す上で健康運動指導士をまず取得すべき標準的な資格であると位置付け、質の高い人材の養成、確保を積極的に図っているところです。

2. 健康運動指導士の称号は、このようにして取得します。

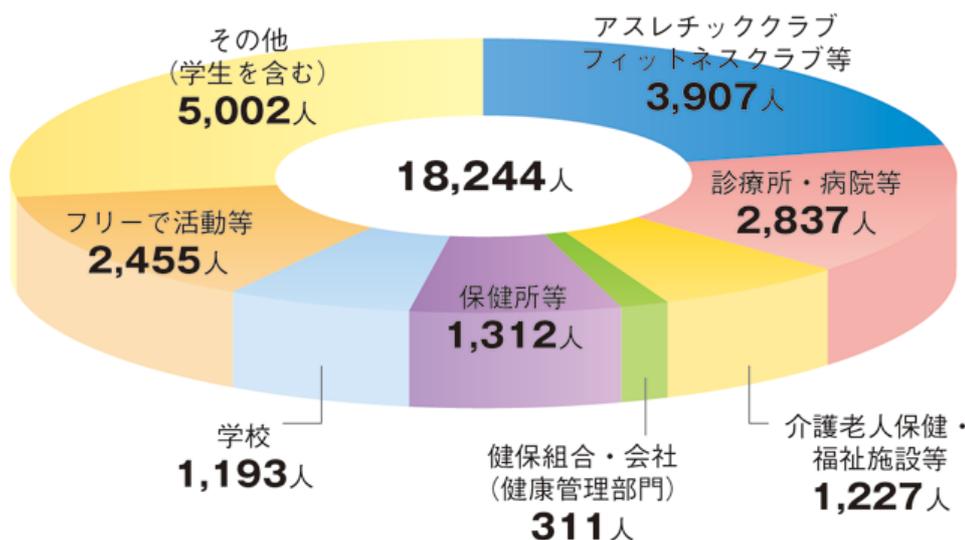
健康運動指導士の称号を取得するには、次図のように、健康運動指導士養成講習会を受講するか、又は、健康運動指導士養成校の養成講座を修了して、健康運動指導士認定試験に合格した上で、健康運動指導士台帳に登録されなければなりません(講習会、養成校の認定、認定試験、登録いずれも当財団が実施)。



3. 健康運動指導士は、このようなところで活躍しております。

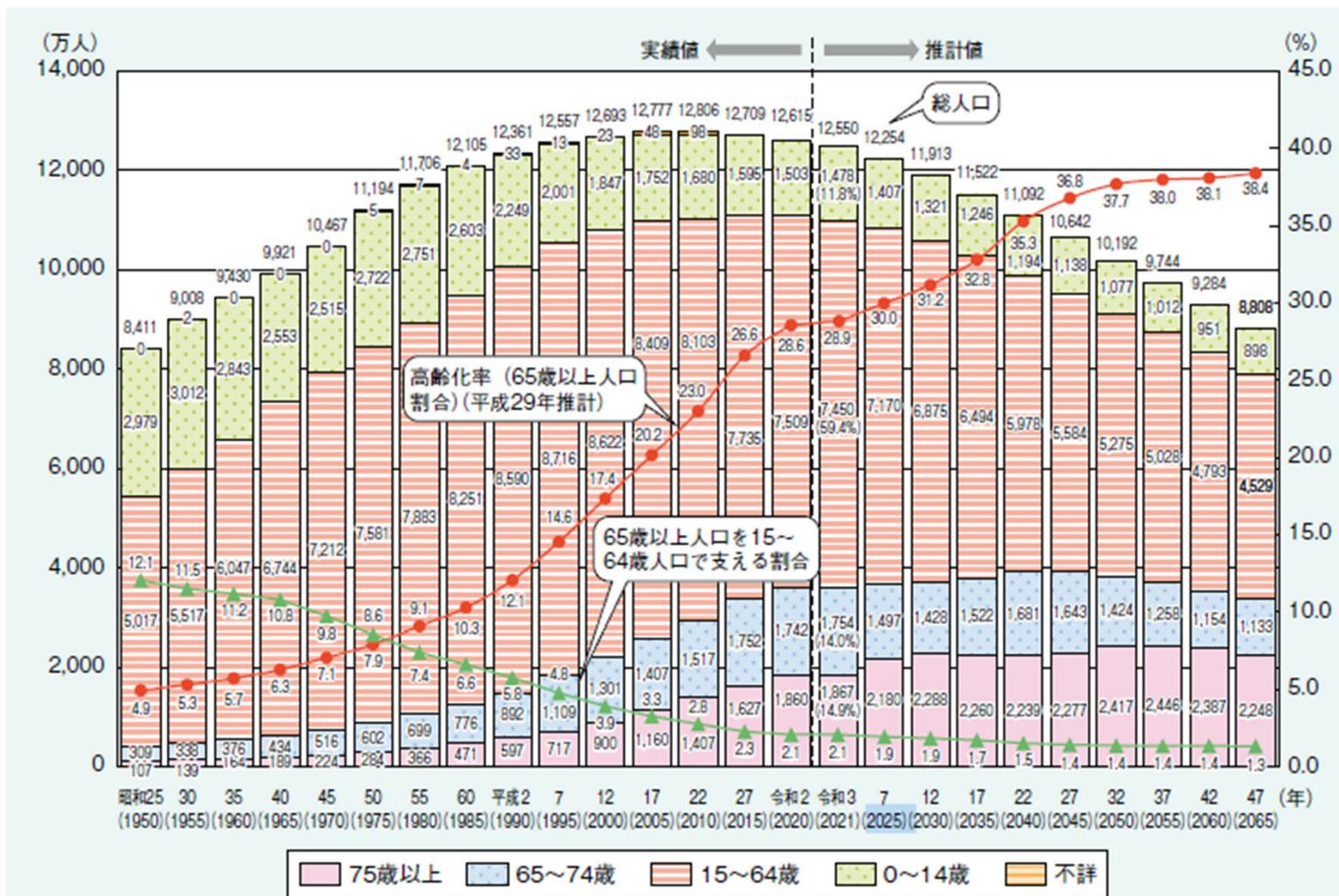
令和4年12月1日現在、健康運動指導士として当財団に登録されている方は、全国で18,244人(女性11,594人、男性6,650人)おり、それらの方々の職場は、次グラフのとおりです。

最近は、病院、老人福祉施設、介護保険施設や介護予防事業等で活躍している方の増加が目立っております。



健康運動指導士養成校のご紹介

高齢化の推移と将来推計



令和4年度版 高齢者白書 (内閣府) より

令和3年度 周南市教育委員会の重点施策について

教育部

所属課	事業名	令和3年度 予算額及び財源内訳 ※():前年度当初予算額 単位:千円	事業目的及び事業概要	令和3年度実施事業の内容									
学校教育課	⑫部活動指導員配置事業 《新規》	現計予算額 2,641 (0) <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">財源</td> <td>国県</td> <td>1,404</td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,000</td> <td>一財</td> <td>237</td> </tr> </table> *「その他」の財源は「子ども未来夢基金」より全額充当	財源	国県	1,404	地方債		その他	1,000	一財	237	専門的知識・技術を有する外部指導者による指導により、生徒の技術向上等、部活動の充実を図ります。教員の部活動指導に係る負担軽減により、生徒指導等、教育環境の充実を図ります。 《全体事業計画》 事業期間 令和3年度～毎年度実施 概算事業費 2,641千円	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校の部活動において、生徒の能力に応じた適切な練習法の導入等、部活動の質的向上を図るため、専門的知識・技術を有する外部指導員を6名配置 ●教員の部活動指導に係る負担を軽減し、生徒指導や授業準備等、専門性を活かした業務の時間を確保
	財源	国県		1,404	地方債								
その他		1,000	一財	237									
⑬やまぐち部活動改革推進事業 《新規》	現計予算額 2,700 (0) <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">財源</td> <td>国県</td> <td>2,700</td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>一財</td> <td></td> </tr> </table>	財源	国県	2,700	地方債		その他		一財		専門的知識・技術を有する外部指導者による指導により、生徒の技術向上等、部活動の充実を図ります。教員の部活動指導に係る負担軽減を図ります。 《全体事業計画》 事業期間 令和3年度 概算事業費 2,700千円	<ul style="list-style-type: none"> ●国が進める、休日(土・日・祝日)の部活動に係る地域スポーツ・文化活動への段階的移行を踏まえ、中学校1校において地域指導者6名を配置し、実践研究を実施 ●教員の休日の部活動指導に係る負担を軽減し、ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方を推進 	
財源	国県		2,700	地方債									
	その他		一財										
学校給食課	⑭学校給食管理運営事業 《継続》	現計予算額 604,548 (599,253) <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">財源</td> <td>国県</td> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,635</td> <td>一財</td> <td>602,913</td> </tr> </table> *「その他」の財源のうち1,300千円は「子ども未来夢基金」から充当	財源	国県		地方債		その他	1,635	一財	602,913	各学校給食センターの円滑な運営により、児童生徒に安心安全でおいしい学校給食を安定供給します。 《全体事業計画》 事業期間:毎年度実施	<ul style="list-style-type: none"> ●市内6か所の学校給食センターの管理運営 ●新南陽学校給食センターにおいて、PFI事業者が行う運営・維持管理業務のモニタリングを実施
	財源	国県			地方債								
その他		1,635	一財	602,913									
⑮学校給食センター解体事業 《継続》	現計予算額 112,707 (5,923) <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">財源</td> <td>国県</td> <td></td> <td>地方債</td> <td>96,900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>一財</td> <td>15,807</td> </tr> </table>	財源	国県		地方債	96,900	その他		一財	15,807	新たに新南陽学校給食センターを設置したことに伴い、既存の2センター(徳山西、新南陽)を解体・除去し、その後の土地売却・転用等により、跡地の有効活用を図ります。 《全体事業計画》 事業期間:令和2年度～令和5年度 概算事業費:257,386千円	<ul style="list-style-type: none"> ●旧徳山西学校給食センターを解体 (1) 解体工事 (2) 解体前の廃棄物処理、工損調査 	
財源	国県			地方債	96,900								
	その他		一財	15,807									

3. 部活動指導員配置事業・やまぐち部活動改革推進事業

【部活動指導員配置事業（予算額：2,641千円）】

- 1人ひとりの生徒の能力に応じた適切な練習法の導入等、部活動の質的向上を図るため、専門的知識・技能を有する外部人材6名を部活動指導員として中学校に配置。
- 教員の部活動指導に係る負担軽減等、持続可能な部活動運営体制の構築及び教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。

【やまぐち部活動改革推進事業（予算額：2,700千円）】

- 令和5（2023）年以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向け、地域人材や運営団体の確保、費用負担の在り方等の課題や成果を整理・検証するため、拠点校（秋月中学校）において実践研究を実施。
- 教員の部活動指導に係る負担軽減等、持続可能な地域スポーツ・文化活動組織体制の構築及び教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。

	部活動指導員配置事業	やまぐち部活動改革推進事業
配置校	秋月中（4部活）、岐陽中（1部活）、富田中（1部活）	秋月中（6部活） 男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、 軟式野球部、卓球部、女子バレーボール部、吹奏楽部
身分	市会計年度任用職員として任用された学校職員	地域のスポーツ・文化活動の指導者
事業内容	主に平日の部活動において、顧問教諭と連携して指導にあたり、必要に応じて、休日の指導や大会等へも引率指導にあたる。	休日の部活動を地域部活動とみなし、地域部活動の指導者として指導。
勤務（指導）時間	原則として1日に2時間程度、1週間あたり7時間以内とし、年間245時間を上限。	土・日又は祝日については原則3時間以内、1週間あたり1日を基本とし、年間43日を上限。
大会・練習試合等の引率	山口県中学校体育連盟の大会等公式戦にも引率可。	山口県中学校体育連盟の大会等、学校教育の部活動として参加する大会等には参加できない。練習試合や教会等、地域のクラブチーム等で参加できるものは参加可。

周南公立大学 御中

周南公立大学 新設学部設置構想についてのアンケート調査

人材需要アンケート ご報告書

令和4年12月16日
株式会社高等教育総合研究所

目 次

①人間健康科学部「看護学科（仮称）」についての採用意向アンケート調査.....	2
設置構想についてのアンケート調査概要.....	3
人材需要の見通しについての考察.....	4
調査結果について.....	6
全体集計結果.....	16
【資料】周南公立大学 人間健康科学部「看護学科（仮称）」アンケート調査用紙.....	20
【資料】周南公立大学 人間健康科学部「看護学科（仮称）」概要.....	23
②3学部4学科設置構想についての採用意向アンケート調査.....	28
設置構想についてのアンケート調査概要.....	29
人材需要の見通しについての考察.....	30
調査結果について.....	32
全体集計結果.....	64
【資料】周南公立大学 3学部4学科 アンケート調査用紙.....	71
【資料】学部学科概要.....	75

3学部4学科は以下の通り。

学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科
人間健康科学部	スポーツ健康科学科
	福祉学科
情報科学部	情報科学科

①人間健康科学部「看護学科（仮称）」についての採用意向アンケート調査

設置構想についてのアンケート調査概要

目的	周南公立大学が令和6（2024）年4月に設置を構想している人間健康科学部「看護学科（仮称）」について、本アンケート調査より人材需要の見通しを測ることを目的とする。
対象	近隣県を対象として、周南公立大学人間健康科学部「看護学科（仮称）」が卒業後に看護師、保健師としての採用を想定する病院、診療所、保健センター等の医療機関および介護福祉施設等に調査を依頼した。
時期	令和4（2022）年10月～12月
調査方法	調査対象先の採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部学科概要・返送用封筒を送付し、調査を実施した。
調査内容	主に選択枝式の13問。※一部記述あり 回答元の基本情報（所在地、種別、勤務人数等）、周南公立大学人間健康科学部「看護学科（仮称）」の卒業生に対する採用意向等。
回収件数	242件

人材需要の見通しについての考察

周南公立大学が構想する人間健康科学部「看護学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについては、「ニーズは極めて高い」と回答したのが 87 件、「ニーズはある程度高い」が 109 件となっており、合計すると回答元の 8 割以上が社会的ニーズの高いと評価した。

問 8 人間健康科学部「看護学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ	
選択肢	件数
ニーズは極めて高い	87
ニーズはある程度高い	109
どちらともいえない	28
わからない	17
無回答	1
合計	242

人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業した「看護師」の採用意向については、「採用したい」との回答が 139 件となっている。採用意欲を示したこの 139 件に対し、採用可能と思われる人数を質問したところ、合計は 243 人である。

問 9 人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業した「看護師」の採用意向	
選択肢	件数
採用したい	139
採用しない	9
わからない	92
無回答	2
合計	242

問 10 人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業した「看護師」の採用可能人数		
選択肢	件数	人数
1 名	13	13
2 名	16	32
3 名	17	51
4 名	1	4
5 名以上	13	65
人数は未定だが最低 1 名	78	78
無回答	1	-
合計	139	243

※「人数は未定だが最低 1 名」を 1 人とカウントしています。

また、人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業した「保健師」の採用意向については、「採用したい」との回答が 30 件となっている。採用意欲を示した 30 件に対し、採用可能と思われる人数を質問したところ、合計は 33 人である。

問 1 1 人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業した「保健師」の採用意向		
選択肢	件数	
採用したい	30	
採用しない	77	
わからない	109	
無回答	26	
合計	242	
問 1 2 人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業した「保健師」の採用可能人数		
選択肢	件数	人数
1名	10	10
2名	3	6
3名	0	0
4名	0	0
5名以上	0	0
人数は未定だが最低1名	17	17
合計	30	33

※「人数は未定だが最低1名」を1人とカウントしています。

人間健康科学部「看護学科（仮称）」の入学定員は 80 名であり、本調査における「看護師」の採用可能人数は 243 人で、入学定員の約 3 倍となっている。また、「保健師」についても選択カリキュラムが予定する定員の 20 名を超えるニーズが出ている。

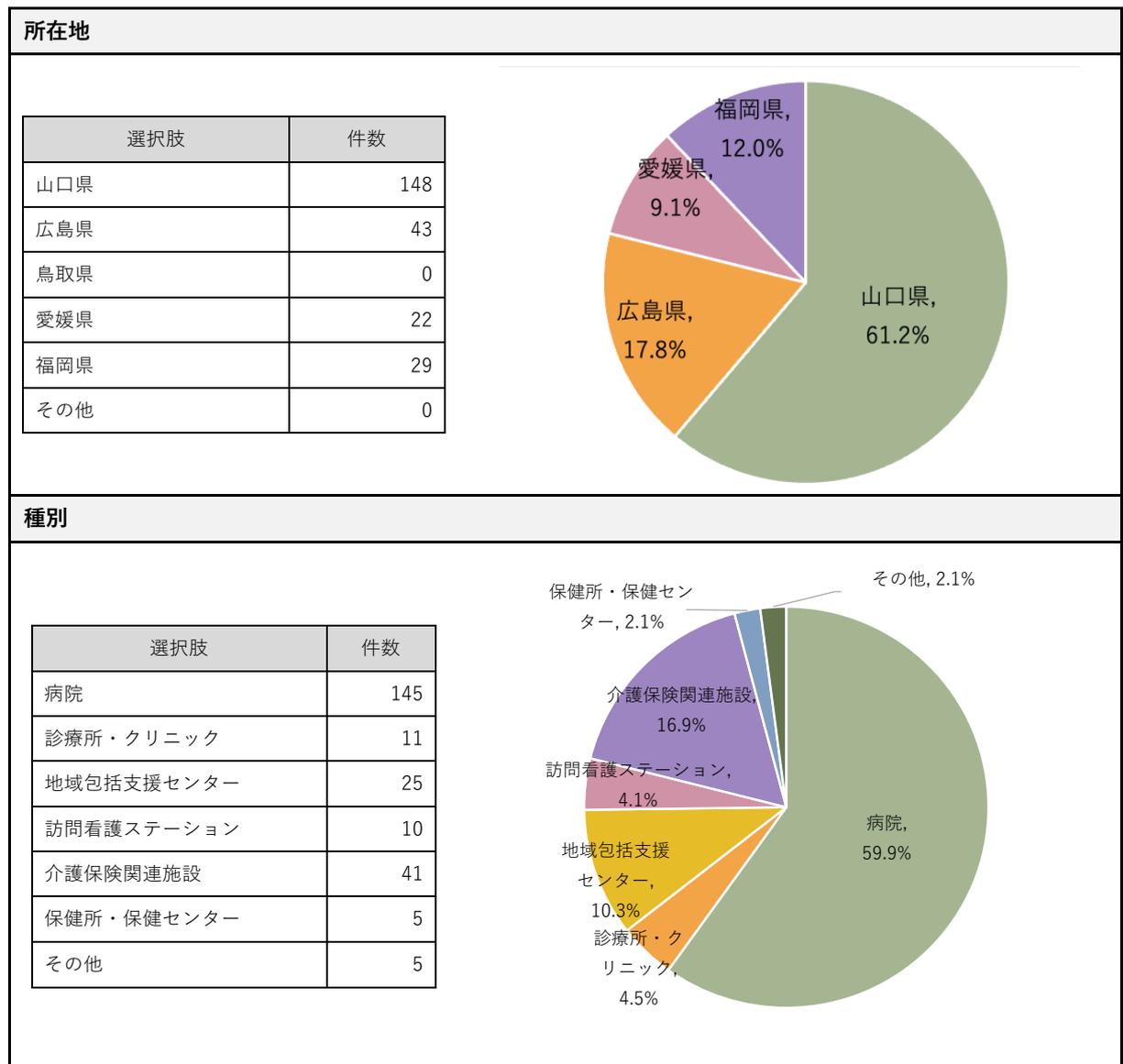
上記の結果から社会的ニーズへの評価も含め、人間健康科学部「看護学科（仮称）」の卒業生については、十分な需要があると考えられる。

調査結果について

1 回答元の基本情報（所在地、種別）-問1、問2

回答元の所在地は、周南公立大学が立地する「山口県」が148件（61.2%）で最も多く、6割以上となっており、「広島県」が43件（17.8%）、「福岡県」が29件（12.0%）、「愛媛県」が22件（9.1%）と続いている。

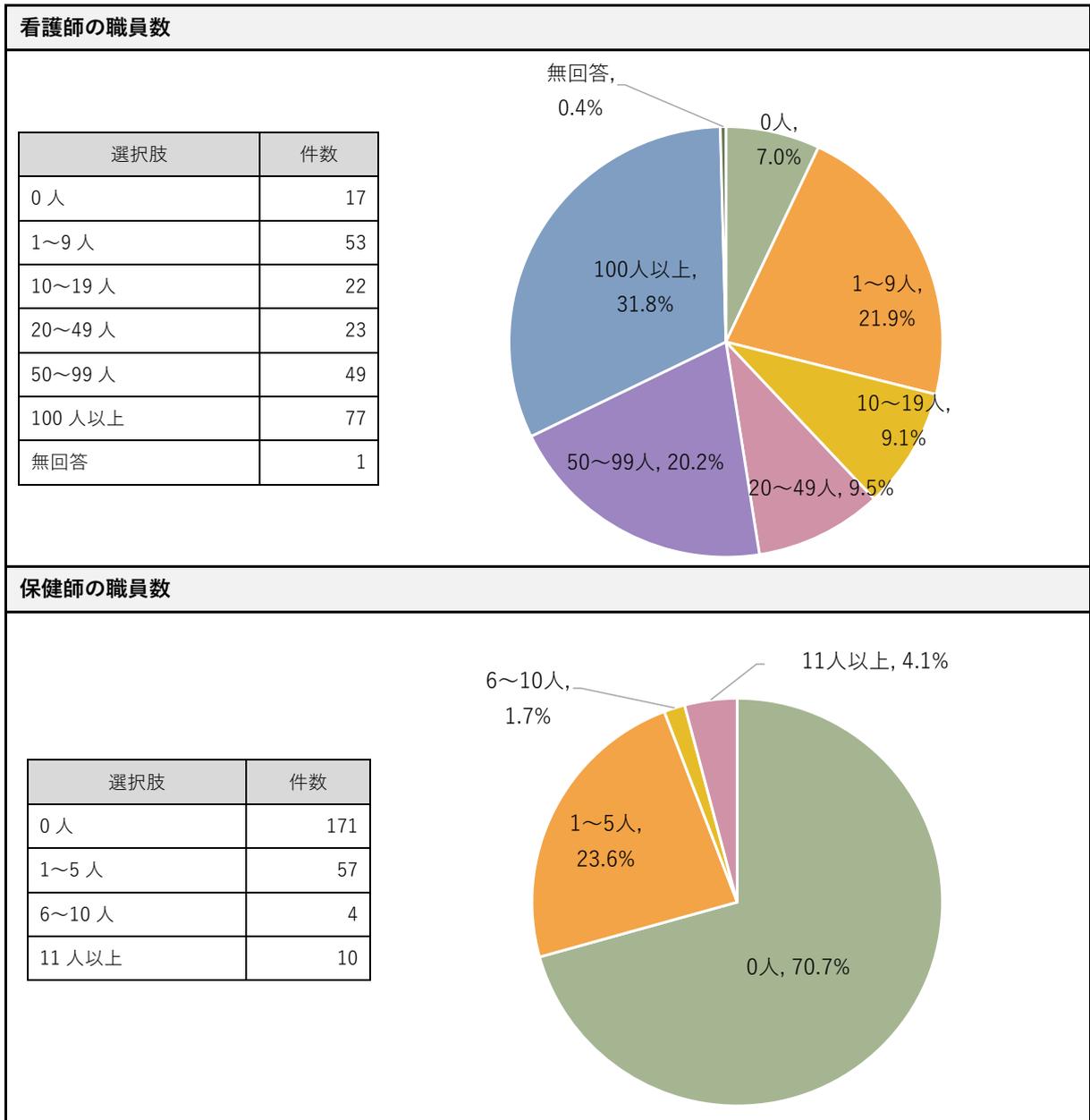
回答元の種別では、「病院」が145件（59.9%）で最も多く、「介護保険関連施設」が41件（16.9%）、「地域包括支援センター」が25件（10.3%）と続いている。



2 回答元の職員数-問3、問4

回答元に勤務している看護師、保健師の人数について質問したところ、看護師では「100人以上」が77件(31.8%)で最も多く、「1~9人」が53件(21.9%)、「50~99人」が49件(20.2%)と続いている。

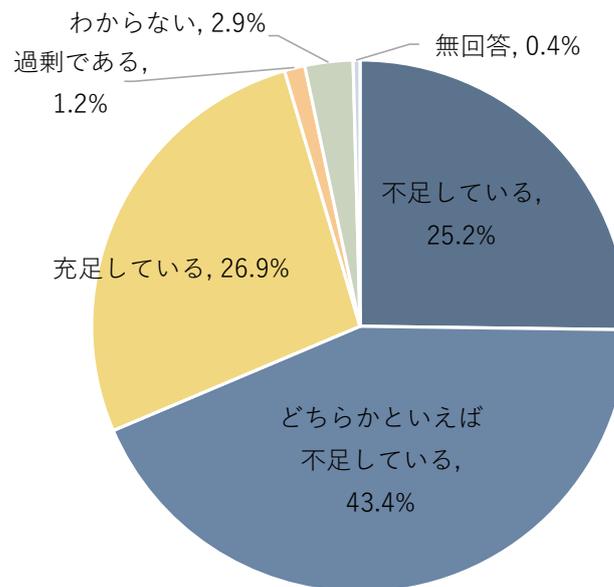
保健師では、「0人」が171件(70.7%)で最も多く、「1~5人」が57件(23.6%)、「11人以上」が10件(4.1%)と続いている。



3 回答元の「看護職者」の充足状況-問5

回答元の「看護職者」の充足状況において、最も多かったのが「どちらかといえば不足している」が105件（43.4%）であった。「不足している」が61件（25.2%）であり、合計すると166件（68.6%）と回答元の7割近くが、「看護職者」が不足していると回答している。

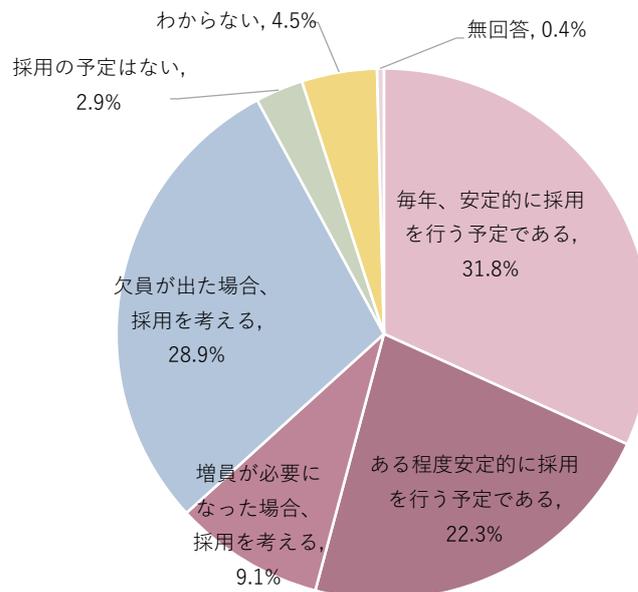
選択肢	件数
不足している	61
どちらかといえば不足している	105
充足している	65
過剰である	3
わからない	7
無回答	1



4 回答元の「看護職者」の今後の採用方針について-問6

回答元の「看護職者」の今後の採用方針は「毎年、安定的に採用を行う予定である」が77件（31.8%）で最も多い。「ある程度安定的に採用を行う予定である」が54件（22.3%）と続いている。合計すると131件（54.1%）で、回答元の半数以上が今後も安定的に採用する予定と回答している。

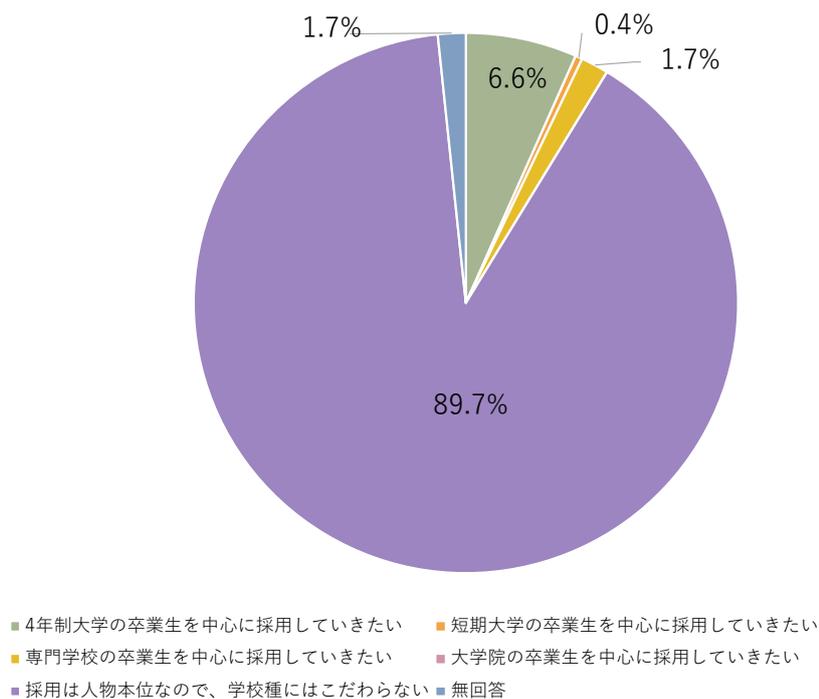
選択肢	件数
毎年、安定的に採用を行う予定である	77
ある程度安定的に採用を行う予定である	54
増員が必要になった場合、採用を考える	22
欠員が出た場合、採用を考える	70
採用の予定はない	7
わからない	11
無回答	1



5 回答元の「看護職者」の新卒採用について-問7

回答元の「看護職者」の新卒採用について質問したところ、「採用は人物本位なので、学校種にはこだわらない」が217件（89.7%）で最も多く、ついで「4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい」が16件（6.6%）となっている。

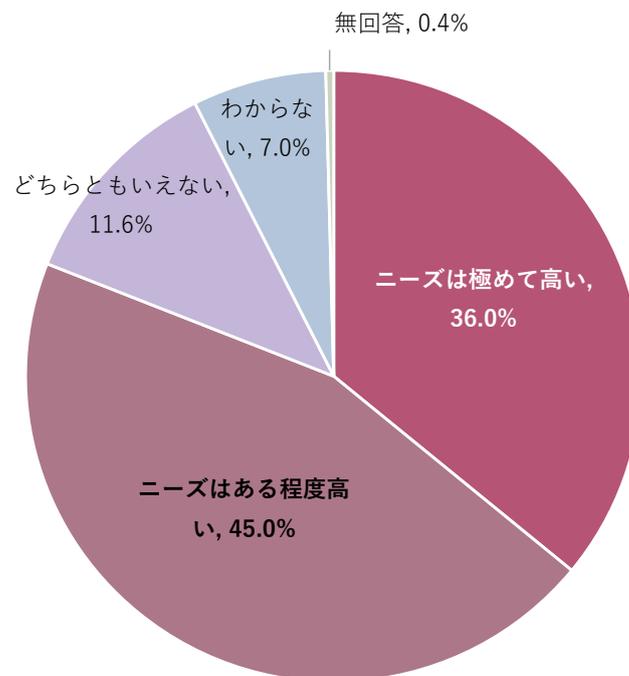
選択肢	件数
4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい	16
短期大学の卒業生を中心に採用していきたい	1
専門学校の卒業生を中心に採用していきたい	4
大学院の卒業生を中心に採用していきたい	0
採用は人物本位なので、学校種にはこだわらない	217
無回答	4



6 人間健康科学部「看護学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問8

人間健康科学部「看護学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、「ニーズは極めて高い」と回答したのが87件（36.0%）、「ニーズはある程度高い」が109件（45.0%）となっている。合計すると回答元の8割以上が、「社会的ニーズは高い」と評価している。

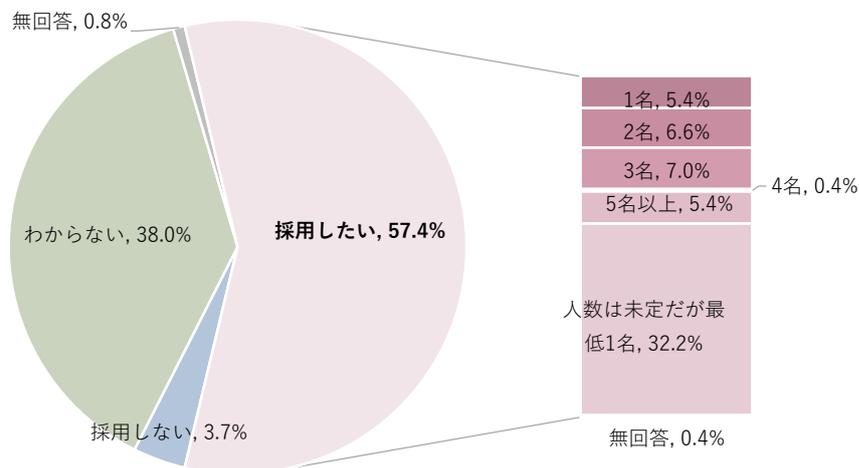
選択肢	件数
ニーズは極めて高い	87
ニーズはある程度高い	109
どちらともいえない	28
わからない	17
無回答	1



7 人間健康科学部「看護学科（仮称）」の卒業生の採用意向 -問9、問10

人間健康科学部「看護学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が139件（57.4%）となっている。

「採用したい」とした回答元の139件に、採用可能な人数を質問したところ、その合計は、243人となった。



選択肢	件数
採用したい	139
採用しない	9
わからない	92
無回答	2
合計	242

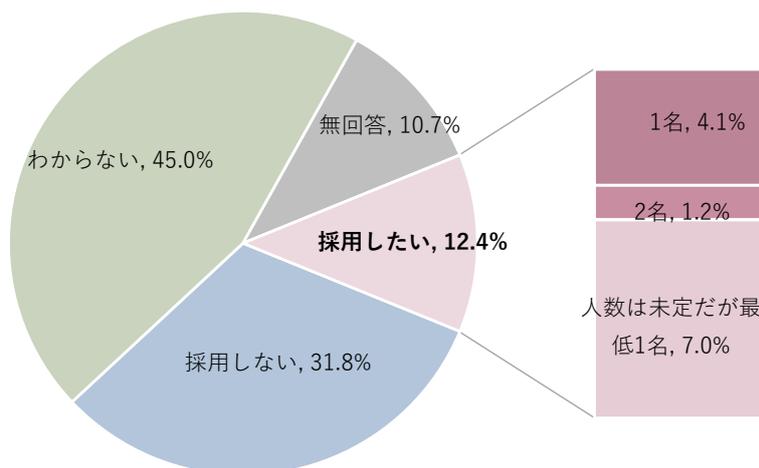
選択肢	件数	人数
1名	13	13
2名	16	32
3名	17	51
4名	1	4
5名以上	13	65
人数は未定だが最低1名	78	78
無回答	1	—
合計	139	243

※「人数は未定だが最低1名」を1人とカウントしています。

8 人間健康科学部「看護学科（仮称）」の保健師の採用意向-問11、問12

人間健康科学部「看護学科（仮称）」では、選抜選択制による保健師養成カリキュラムを設定している。当該カリキュラムを卒業した「保健師」の採用意向について質問したところ、「採用したい」が30件（12.4%）であった。

「採用したい」とした回答元の30件に対し採用可能な人数について質問したところ、その合計は、33人であった。



選択肢	件数
採用したい	30
採用しない	77
わからない	109
無回答	26
合計	242

選択肢	件数	人数
1名	10	10
2名	3	6
3名	0	0
4名	0	0
5名以上	0	0
人数は未定だが最低1名	17	17
合計	30	33

※「人数は未定だが最低1名」を1人とカウントしています。

9 人間健康科学部「看護学科（仮称）」に対し、期待される点や要望-問13

周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※原文ママ

広島県でも看護師養成校が少ない事で特に地方は大変な状況です。

安定して人材を育てる事が出来る大学があると心強いと思われます。

新しい若い人材の育成に期待しています。

がんばってください。

包括支援センターの拡大に伴い保健師のニーズが高まっていると思います。

地域の役割に特化した学びの場があることを望んでいます。

県外出身の学生は県内入職に繋がらない。

県内の学生枠があればよいと思う。

新しい知識、技能を修得され、それを活かして医療、福祉で貢献していただきたい。

また、大学、その仲間を通じたネットワークを駆使されて、現在、未来にそぐう活躍を期待します。

地域に開かれた講座や研修の実施

介護老人保健施設への実習もあればお受けしたいです。

特に、当所就職先を周南エリアの総合病院に集中させないでいただきたい。

山口県に残ってくれて、地域医療を支えてくれる多数の看護師の養成を期待しています。

知識をしっかりと身に付けた看護師を育成して下さい

地域医療に貢献できる人材の育成を希望します。

倫理観、自律性のある看護師の育成に期待します。

問11については、当院においての保健師の必要性は現状ありません。

今までいろいろな学生の方をみてきましたが、テストの点が良いだけ、教科書の中の正解が言えるだけでは地域包括支援センターでは応用できません。

現在、地域包括支援センターでは様々な国の期待を背負っています。

保健師、看護師の中ではほんの1ページも満たないところで保健師の役割や機能が活かされ期待されています。病院、行政のみならず地域の地域包括支援センター（主に委託）にも目を向けてくれる学生さんを育てていただけると嬉しいです。

接遇の教育もしっかり行っていただけると安心できる

大学卒の学生が増えることで、知識など質の向上が出来る考える。

保健師については、現在5名在勤している。

健診センターでの仕事に従事しているが、病院も併設しているので管理職になってほしいと思う人材もいるので、状況では採用したいと考えている。

大学卒の看護師の皆さんは急性期病院に行くという流れがあると思いますが、ミスマッチですぐ退職してリハビリ、慢性期の病院に転職することがよくあります。

学生には決めつけしないで広い視野で就職先は考えていただいた方が良いでしょうと思います。

スキルを磨くと同時に患者様に寄り添い信頼される「人間力」を養成していただくことを望みます。

病院への就職のみではなく、福祉系（施設）や包括支援センター（在宅系）へも興味を持っておられる人材が多く育つといいと思います。

管理者としての育成に力を入れたい
患者様に寄り添える看護職養成に期待します。
高齢化が進む中、看護学のみならず介護や認知症、さらには接遇教育にも期待します。
若い人材で、田舎の老人施設で働きたい人を育てていただきたいと思います。
山口県東部においては、看護師が不足しています。 ぜひ、卒業生が入職してくれることを望んでいます。
4年間の大学のプログラムで看護実践能力、人間性を身に付けたすばらしい人材を育成して下さることと期待しています。 ご縁がありましたら是非卒業生にも来ていただければ嬉しいです。
公立大学ということで、授業料が私立に比べ安価であると想像します。 それにより優秀な人材が集まると思いますので、より高度な教育が卒後の臨床の場で活かされることを期待します。
精神看護学（特に地域支援）に力を入れてほしい。
社会人としての教養、マナーについて教育していただけると幸いです。
卒業生は医療機関だけでなく、介護、福祉の事業所である当法人も多くの人材を採用したいと考えております。 是非、多くの人材を育成して頂きたいと思います。
当院では保健師の資格を活かせる業務はなく、看護師として貴校で高度な教育を受けた学生さんをぜひ採用したいと考えます。
山口県からの入職者もあります。今後連携が取れることを希望致します。
当院を希望される卒業生がおられた場合、積極的に採用したいと考えております。 何卒よろしくお願ひ申し上げます。
病院への安定した人材供給を期待しております。
看護師として働くに必要な基となる基礎能力がある人を卒業させて欲しい。 国家試験は合格しても、実際に長い期間（年単位）をかけても難しい大卒者がいる。 責任をもって世に出せる人材をお願いしたい。（採用試験で見極めるのは難しい）
責任感がありしなやかな思考のできる人を育てていただきたいと思います。
看護師資格があれば採用したいです。
人材の周南圏域（県内）での就職
本市は看護師を現在採用していません。また、今のところ採用の予定もありません。 保健師については、例年、採用募集を行っていますが、ここ数年は人材確保に苦慮しています。 貴大学で、保健師を養成することになれば、本市も就職先のひとつとしてご検討ください。

全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第2位を四捨五入し記載。

問1 貴機関・貴施設の主たる所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
山口県	148	61.2%
広島県	43	17.8%
鳥取県	0	0.0%
愛媛県	22	9.1%
福岡県	29	12.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	242	100.0%

問2 貴機関・貴施設の種別についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
病院	145	59.9%
診療所・クリニック	11	4.5%
地域包括支援センター	25	10.3%
訪問看護ステーション	10	4.1%
介護保険関連施設	41	16.9%
保健所・保健センター	5	2.1%
その他	5	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	242	100.0%

問3 貴機関・貴施設において現在「看護師」として勤務されている方の人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
0人	17	7.0%
1～9人	53	21.9%
10～19人	22	9.1%
20～49人	23	9.5%
50～99人	49	20.2%
100人以上	77	31.8%
無回答	1	0.4%
合計	242	100.0%

問4 貴機関・貴施設において現在「保健師」として勤務されている方の人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
0人	171	70.7%
1～5人	57	23.6%
6～10人	4	1.7%
11人以上	10	4.1%
無回答	0	0.0%
合計	242	100.0%

問5 貴機関・貴施設における「看護職者」の充足状況をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
不足している	61	25.2%
どちらかといえば不足している	105	43.4%
充足している	65	26.9%
過剰である	3	1.2%
わからない	7	2.9%
無回答	1	0.4%
合計	242	100.0%

問6 貴機関・貴施設の「看護職者」の今後の採用方針についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
毎年、安定的に採用を行う予定である	77	31.8%
ある程度安定的に採用を行う予定である	54	22.3%
増員が必要になった場合、採用を考える	22	9.1%
欠員が出た場合、採用を考える	70	28.9%
採用の予定はない	7	2.9%
わからない	11	4.5%
無回答	1	0.4%
合計	242	100.0%

問7 貴機関・貴施設の「看護職者」の新卒採用についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい	16	6.6%
短期大学の卒業生を中心に採用していきたい	1	0.4%
専門学校卒業生を中心に採用していきたい	4	1.7%
大学院の卒業生を中心に採用していきたい	0	0.0%
採用は人物本位なので、学校種にはこだわらない	217	89.7%
無回答	4	1.7%
合計	242	100.0%

問8 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）の養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
ニーズは極めて高い	87	36.0%
ニーズはある程度高い	109	45.0%
どちらともいえない	28	11.6%
わからない	17	7.0%
無回答	1	0.4%
合計	242	100.0%

問9 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）の卒業生を「看護師」として採用したいと思えますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	139	57.4%
採用しない	9	3.7%
わからない	92	38.0%
無回答	2	0.8%
合計	242	100.0%

問 10 は、問 9 で「採用したい」と回答した場合の限定質問である。

問 10 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	13	9.4%
2 名	16	11.5%
3 名	17	12.2%
4 名	1	0.7%
5 名以上	13	9.4%
人数は未定だが最低 1 名	78	56.1%
無回答	1	0.7%
合計	139	100.0%

周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）では選抜選択制による保健師養成カリキュラ

問 11 ムを設定しています。当該カリキュラムの卒業生を「保健師」として採用したいと思われませんか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	30	12.4%
採用しない	77	31.8%
わからない	109	45.0%
無回答	26	10.7%
合計	242	100.0%

問 12 は、問 11 で「採用したい」と回答した場合の限定質問である。

問 12 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	10	33.3%
2 名	3	10.0%
3 名	0	0.0%
4 名	0	0.0%
5 名以上	0	0.0%
人数は未定だが最低 1 名	17	56.7%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

【資料】周南公立大学 人間健康科学部「看護学科（仮称）」アンケート調査用紙



**周南公立大学 人間健康科学部「看護学科」(仮称)
設置構想についての採用意向アンケート調査**
(対象：人事・採用ご担当者様)

周南公立大学（山口県周南市）は、2024年4月に人間健康科学部「看護学科」（仮称）の開設を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様から率直なご意見をお伺いし、さらなる計画の充実を図って参りたいと考えております。ご回答いただいた情報は当該学部学科の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。
※このアンケート調査は周南公立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※リーフレット及びアンケートに記載されている当該学部学科の内容については予定であり、変更される可能性があります。

【アンケート記入にあたっての注意事項】
記入は必ずシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
※正しい回答のように丁寧にマークしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。



問1 貴機関・貴施設の主たる所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 山口県 広島県 鳥取県 愛媛県 福岡県 その他

問2 貴機関・貴施設の種別についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 病院 診療所・クリニック 地域包括支援センター 訪問看護ステーション 介護保険関連施設
 保健所・保健センター その他

問3 貴機関・貴施設において現在「看護師」として勤務されている方の人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 0人 1～9人 10～19人 20～49人 50～99人 100人以上

問4 貴機関・貴施設において現在「保健師」として勤務されている方の人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 0人 1～5人 6～10人 11人以上

問5 貴機関・貴施設における「看護職者」の充足状況をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 不足している どちらかといえば不足している 充足している 過剰である わからない

問6 貴機関・貴施設の「看護職者」の今後の採用方針についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 毎年、安定的に採用を行う予定である ある程度安定的に採用を行う予定である
 増員が必要になった場合、採用を考える 欠員が出た場合、採用を考える
 採用の予定はない わからない

問7 貴機関・貴施設の「看護職者」の新卒採用についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 4年制大学の卒業生を中心に採用していきたい 短期大学の卒業生を中心に採用していきたい
 専門学校卒業生を中心に採用していきたい 大学院の卒業生を中心に採用していきたい
 採用は人物本位なので、学校種にはこだわらない

質問は裏面に続きます。以下の設問は別紙・リーフレットをご覧の上お答えください。



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問 8 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）の養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- ニーズは極めて高い ニーズはある程度高い どちらともいえない わからない

問 9 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）の卒業生を「看護師」として採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 採用したい 採用しない わからない

<<問10は問9で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問 10 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1名 2名 3名 4名 5名以上 人数は未定だが最低1名

問 11 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）では選抜選択制による保健師養成カリキュラムを設定しています。当該カリキュラムの卒業生を「保健師」として採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 採用したい 採用しない わからない

<<問12は問11で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問 12 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1名 2名 3名 4名 5名以上 人数は未定だが最低1名

問 13 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「看護学科」（仮称）に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。



【資料】周南公立大学 人間健康科学部「看護学科（仮称）」概要

2024年4月開設予定 周南公立大学 看護学科

※仮称、設置構想中



※記載の内容は現在計画中であり変更される可能性があります



周南公立大学 看護学科の

Mission

豊かな人間性と高い倫理観、幅広い教養に加え、高度な知識と実践力を備えた看護専門職者を育成します。また、地域に開かれた大学として、本学学生の教育への地域住民の参画や地域の保健医療福祉機関との協働により地域の看護力向上を推進するとともに、教育・研究成果を地域に還元することにより、地域の健康・医療・福祉の向上に寄与します。

※夜校、設置構想中

学び方の特徴

高度医療機関、在宅ケア、地域のさまざまな施設での実習によって身に付く確かな実践力

1年次には早期体験型実習として、地域に暮らす人々のさまざまな健康状態及び健康生活を理解する実習「well-being実習Ⅰ」「well-being実習Ⅱ」

4年次には地域の健康課題を発見し健康創生に取り組む「well-being実習Ⅲ」

あらゆる健康状態にある人々に対する看護実践能力の基礎を獲得する多様なシミュレーション教育

リアルな看護場面の状況設定シナリオによるシミュレーション

地域住民との協働による模擬患者を導入したシミュレーション

ICT、DXを活用した患者のリアルな身体状態の再現によるシミュレーション



地域から学び、地域へ還す。

養成する人材像

豊かな人間性と高い倫理観、幅広い教養を備え、多職種・他業種と連携して、どのような健康状態にある人も生涯にわたって、地域社会とのつながりの中でその人らしいより豊かな健康生活 (well-being) を実現する看護を創造できる人材を養成します。

複雑化・多様化する医療提供体制に対応できる実践力

疾病からの回復支援、疾病・障がいがある人の生活、安らかなエンドオブライフを支える看護実践能力の基礎を備えた看護専門職者を育成します。

人々が持てる力を発揮してwell-beingを実現することを支える人材

人々が健康の連続性の中で、病気や障がいの有無にかかわらず、社会とのつながりを持ち、自身の持てる力を発揮して、その人らしい健康生活を引き出す看護実践能力の基礎を備えた看護専門職者を育成します。

地域の保健、医療における課題を見出し、地域の健康生活を創生する実践力

地域住民とともに、地域の保健、医療における課題を見出し、あらゆる健康状態にある地域住民の健康づくり、病気やけがからの回復、「その人らしい」健康生活や家族が豊かに生活するための力を引き出すことができる看護実践能力の基礎を備えた看護専門職者を育成します。

well-being

カリキュラム概要

4年生	発展科目 (看護統合科目) ● チーム連携・協働力 ● 課題解決力、生涯教育力	卒業研究、well-being実習Ⅲ IPW (多職種連携)、災害看護 公衆衛生看護実習	
保健師養成カリキュラム (選抜選択制)			
3年生	応用科目 (看護専門科目) ● 保健・医療・福祉に関する幅広い知識・技術の獲得 ● 看護実践 (知識・技術・態度の統合) 基礎力の獲得 ● あらゆる健康状態にある対象者への看護ニーズに応える実践力の獲得	地域健康支援論 地域在宅看護論 看護ヘルスアセスメント ケアシミュレーション (基礎) ケアシミュレーション (応用)	
2年生	総合科目 (リベラルアーツ/リテラシー科目群) 人間の理解、 多様な価値・文化の理解、 コミュニケーションの理解	基礎科目 (専門基礎科目・専門科目) 生命科学・健康及び 社会環境の理解	人間健康科学論 人体構造と機能 看護学概論 セクシュアルリプロダクティブヘルス well-being実習Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生看護概論
1年生			

※記載の内容は現在計画中であり変更される可能性があります

学びの環境 キャンパスと地域を結ぶ開放的な校舎



広がりをつなぐを象徴する校舎

人を優しく迎え入れ、地域とキャンパスの交流やつながりを生むコミュニケーション commons。各フロアに学部学科を超えた学生同士が交流できるラウンジ。

ICT・DXを活用できる充実した学習環境

ICTやDXを活用できる講義室、看護実践力の基礎を獲得するための、さまざまな看護場を再現する実習室やシミュレーション室。



※イメージについては、建築時点でのものです。変更となる場合があります。

資格・進路

資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格(選抜選別制)
- 第一種衛生管理者(保健師養成課程履修者のみ)
- 看護教諭二種免許(保健師養成課程履修者のみ)

進路

- 医療機関、保健所
- 保健センター
- 訪問看護ステーション
- 地域包括支援センター
- 企業の健康管理センター
- 大学院進学など

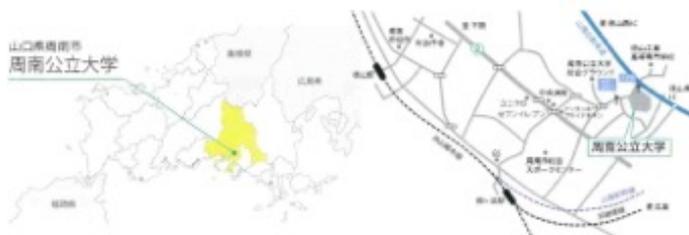
設置概要

- 修業年限/4年
- 開設時期/2024年4月
- 入学定員/80名
- 学位/学士(看護学)



お問い合わせ
TEL:0834-28-4600(法人経営課直通)
〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2

[経済学部]現代経済学科/ビジネス戦略学科
[福祉情報学部]人間コミュニケーション学科



山陽本線・新山陽山駅(下車)より徒歩1分
山陽通駅(下車)より徒歩1分
久保通駅(下車)より徒歩1分
山陽通駅(下車)より徒歩1分

②3 学部4 学科設置構想についての採用意向アンケート調査

設置構想についてのアンケート調査概要

目 的	周南公立大学が令和 6 (2024) 年 4 月に設置を構想している 3 学部 4 学科※ (別表 1) について、本アンケート調査より人材需要の見通しを測ることを目的とする。
対 象	周南公立大学既存学部の就職実績等と、3 学部 4 学科が卒業後の進路に想定する業種・職種を踏まえ、全国の事業所に調査を依頼した。
時 期	令和 4 (2022) 年 10 月～12 月
調 査 方 法	調査対象先の採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部学科概要・返送用封筒を送付し、調査を実施した。
調 査 内 容	主に選択肢式の 19 問。※一部記述あり 回答元の基本情報 (所在地、種別、勤務人数等)、周南公立大学が設置構想中の 3 学部 4 学科の採用意向等。
回 収 件 数	782 件

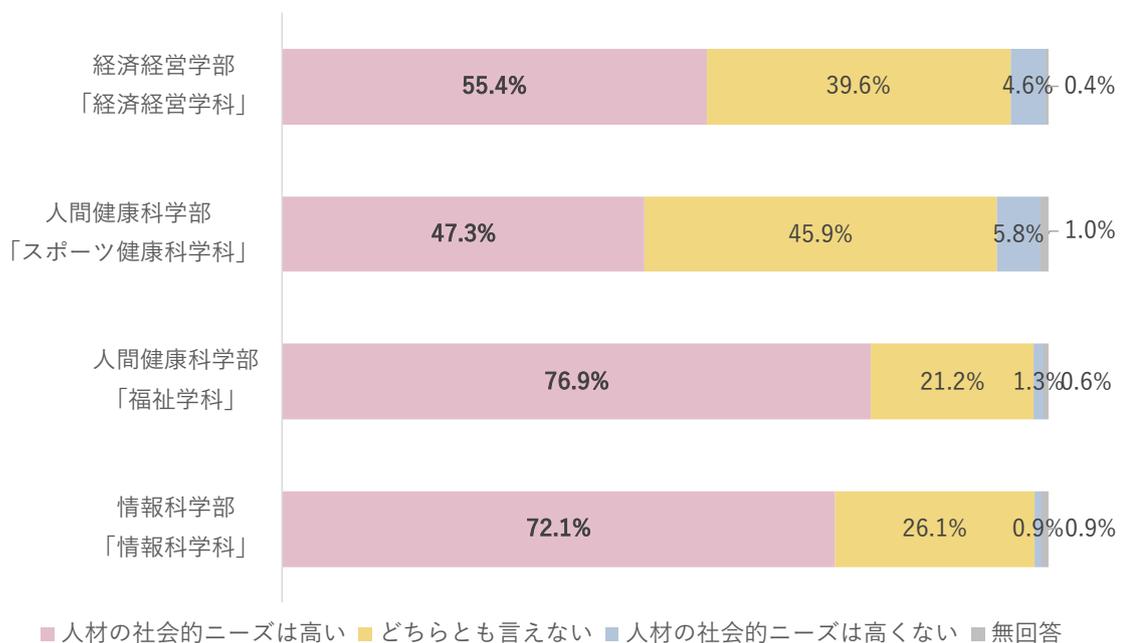
※別表 1

学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科
人間健康科学部	スポーツ健康科学科
	福祉学科
情報科学部	情報科学科

人材需要の見通しについての考察

周南公立大学が構想する以下の3学部4学科が養成する人材の社会的ニーズについては、いずれの学部学科も「人材の社会的ニーズは高い」とした回答が最も多い。人間健康科学部「福祉学科（仮称）」、情報科学部「情報科学部（仮称）」については、回答元の7割以上が養成する人材の社会的ニーズは高いと回答している。

	人材の社会的ニーズは高い	どちらとも言えない	人材の社会的ニーズは高くない	無回答
経済経営学部 「経済経営学科」	433	310	36	3
人間健康科学部 「スポーツ健康科学科」	370	359	45	8
人間健康科学部 「福祉学科」	601	166	10	5
情報科学部 「情報科学科」	564	204	7	7



※各学部学科名称は仮称である。

周南公立大学が構想する 3 学部 4 学科の採用意向および採用可能と思われる人数は、以下の表の通りである。

問 5、問 6、問 8、問 9、問 1 1、問 1 2、問 1 4、問 1 5 の各学部学科の採用意向について				
学部名	学科名	入学定員	採用したい	採用可能人数
経済経営学部	経済経営学科	160 名	383 件	624 人
人間健康科学部	スポーツ健康科学科	80 名	282 件	487 人
人間健康科学部	福祉学科	60 名	297 件	535 人
情報科学部	情報科学科	100 名	358 件	539 人

※採用可能人数では、「人数は未定だが最低 1 名」を 1 人とカウントしています。

3 学部 4 学科のそれぞれの採用可能人数は、予定する入学定員の経済経営学部「経済経営学科（仮称）」は約 4 倍、人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」は約 6 倍、人間健康科学部「福祉学科（仮称）」は約 9 倍、情報科学部「情報科学科（仮称）」は約 5 倍となっている。

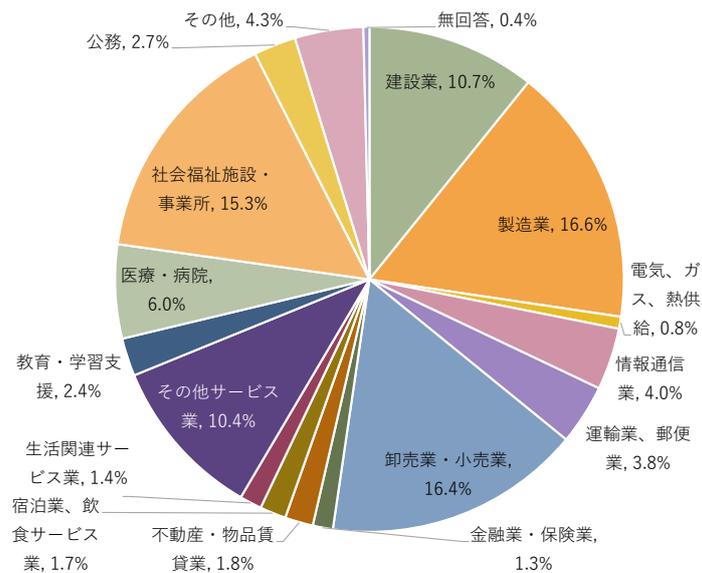
上記の結果から社会的ニーズへの評価も含め、各学部学科の卒業生については、十分な需要があると考えられる。

調査結果について

1 回答元の基本情報（業種）-問1

回答元の業種は、「製造業」が130件（16.6%）で最も多く、続いて「卸売業・小売業」が128件（16.4%）、「社会福祉施設・事業所」120件（15.3%）となっている。

選択肢	件数
建設業	84
製造業	130
電気、ガス、熱供給	6
情報通信業	31
運輸業、郵便業	30
卸売業・小売業	128
金融業・保険業	10
不動産・物品賃貸業	14
宿泊業、飲食サービス業	13
生活関連サービス業	11
その他サービス業	81
教育・学習支援	19
医療・病院	47
社会福祉施設・事業所	120
公務	21
その他	34
無回答	3

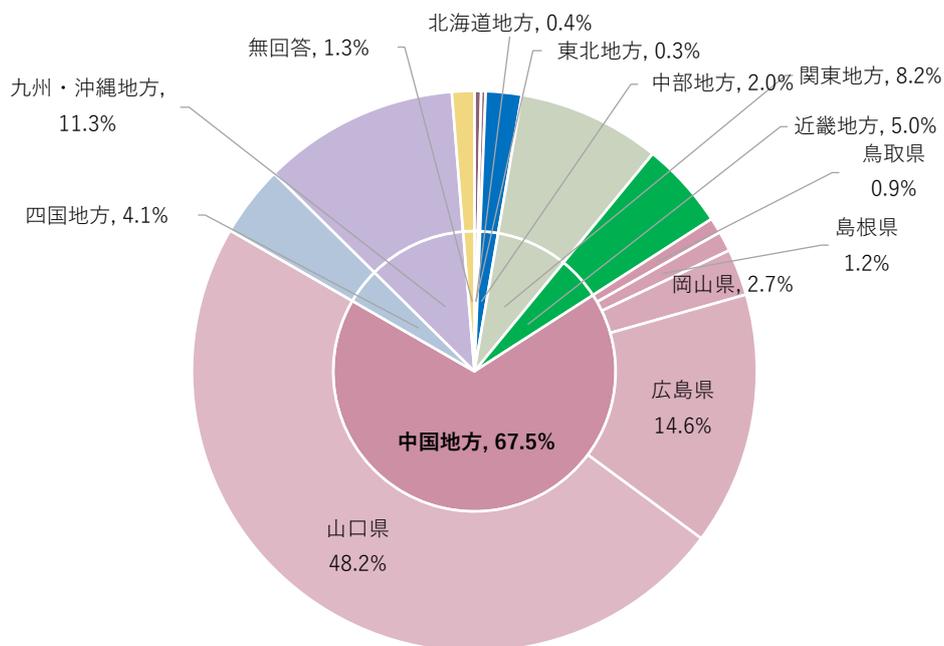


2 回答元の基本情報（所在地）-問2

回答元の所在地について、周南公立大学が立地する「山口県」が377件（48.2%）で最も多く、次いで広島県の114件（14.6%）となっている。両県を含む中国地方が67.5%となっている。ついで、九州・沖縄地方が11.3%、関東地方が8.2%と続いている。

選択肢	件数	選択肢	件数	選択肢	件数
北海道	3	静岡県	3	香川県	10
宮城県	1	愛知県	9	愛媛県	17
福島県	1	三重県	1	高知県	2
茨城県	2	京都府	7	福岡県	71
栃木県	1	大阪府	20	佐賀県	3
群馬県	1	兵庫県	10	長崎県	1
埼玉県	4	奈良県	1	熊本県	3
千葉県	4	鳥取県	7	大分県	5
東京都	49	島根県	9	鹿児島県	5
神奈川県	3	岡山県	21	無回答	10
新潟県	1	広島県	114		
富山県	1	山口県	377		
岐阜県	2	徳島県	3		

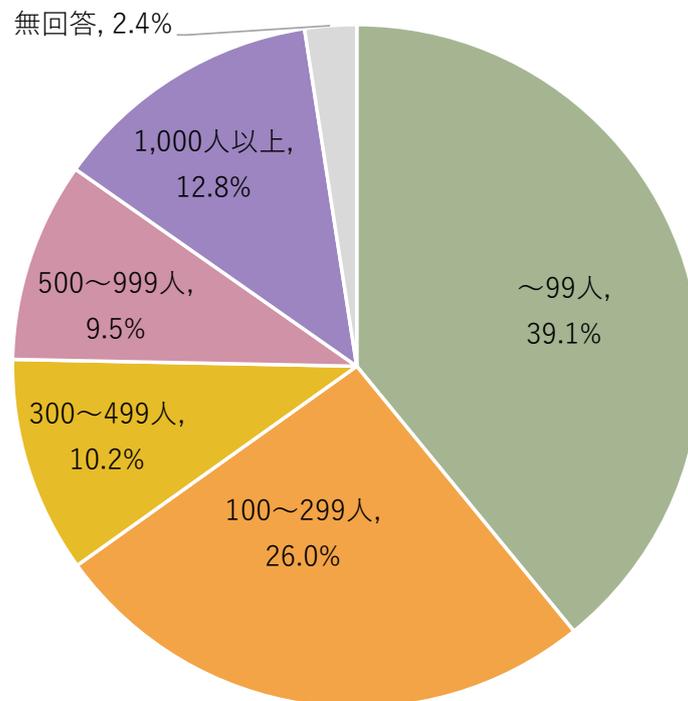
※回答があった都道府県のみ掲載



3 回答元の基本情報（従業員規模）-問3

回答元の従業員規模で最も多かったのが、「～99人」で306件（39.1%）となっている。ついで、「100～299人」が203件（26.0%）と続いている。

選択肢	件数
～99人	306
100～299人	203
300～499人	80
500～999人	74
1,000人以上	100
無回答	19

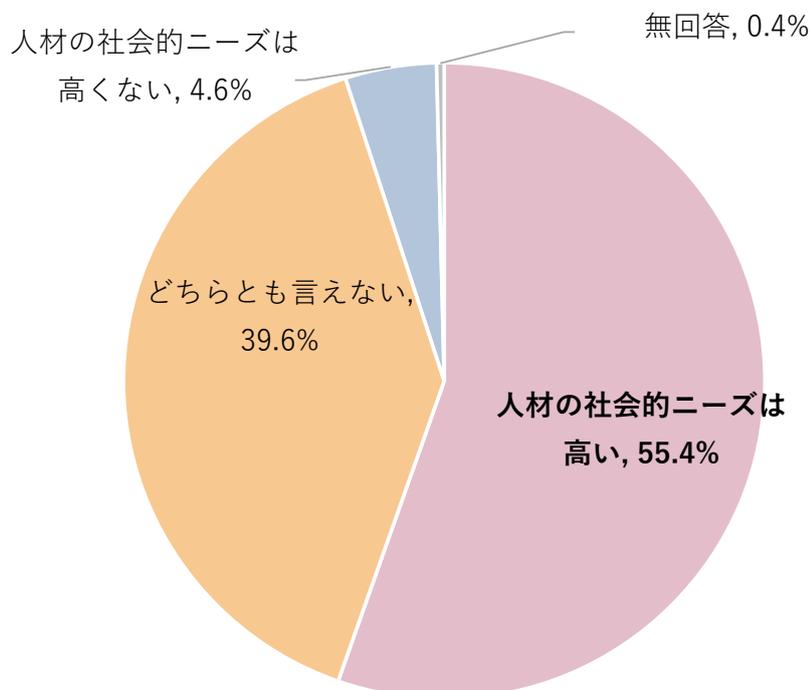


4 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問4

経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、全体の半数以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答している。（433件/55.4%）

一方で、「どちらともいえない」が310件（39.6%）、「人材の社会的ニーズは高くない」が36件（4.6%）となっている。

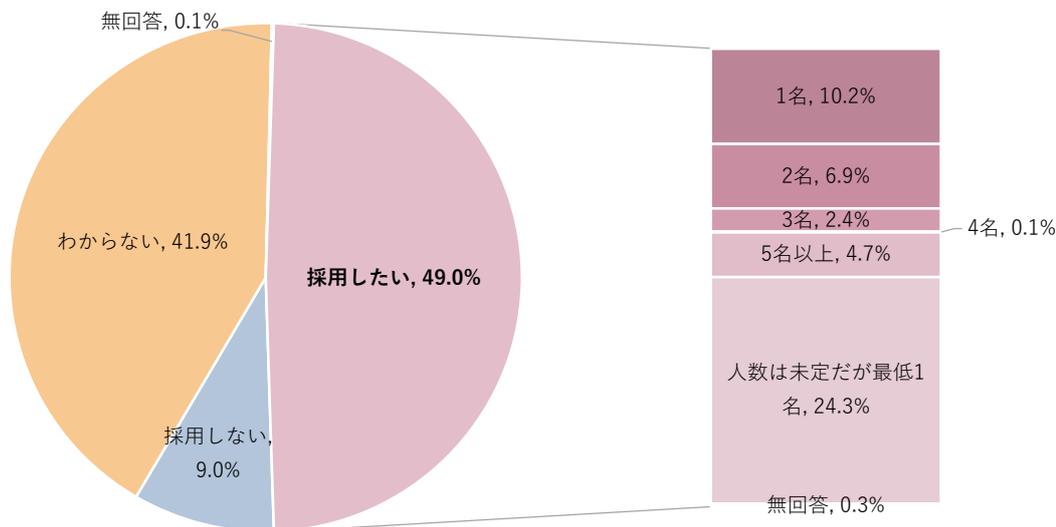
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	433
どちらともいえない	310
人材の社会的ニーズは高くない	36
無回答	3



5 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問 5、問 6

経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が383件（49.0%）となっている。

「採用したい」と回答した383件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が624人となっている。



選択肢	件数
採用したい	383
採用しない	70
わからない	328
無回答	1
合計	782

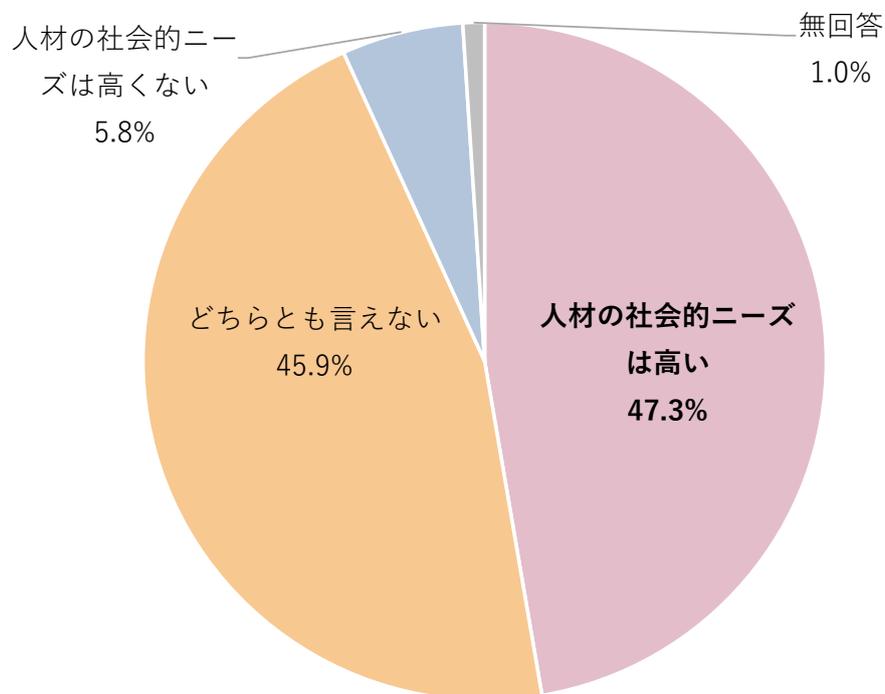
選択肢	件数	人数
1名	80	80
2名	54	108
3名	19	57
4名	1	4
5名以上	37	185
人数は未定だが最低1名	190	190
無回答	2	—
合計	383	624

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

6 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問7

人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、「人材の社会的ニーズは高い」が370件（47.3%）で最も高くなっているが、「どちらとも言えない」も359件（45.9%）の回答があった。

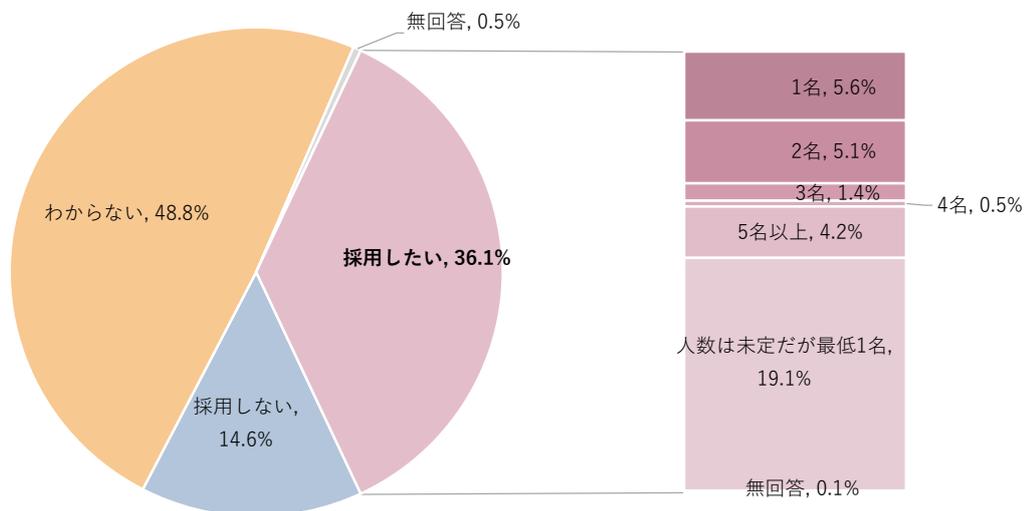
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	370
どちらとも言えない	359
人材の社会的ニーズは高くない	45
無回答	8



7 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問8、問9

人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が282件（36.1%）となっている。

「採用したい」と回答した282件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が487人となっている。



選択肢	件数
採用したい	282
採用しない	114
わからない	382
無回答	4
合計	782

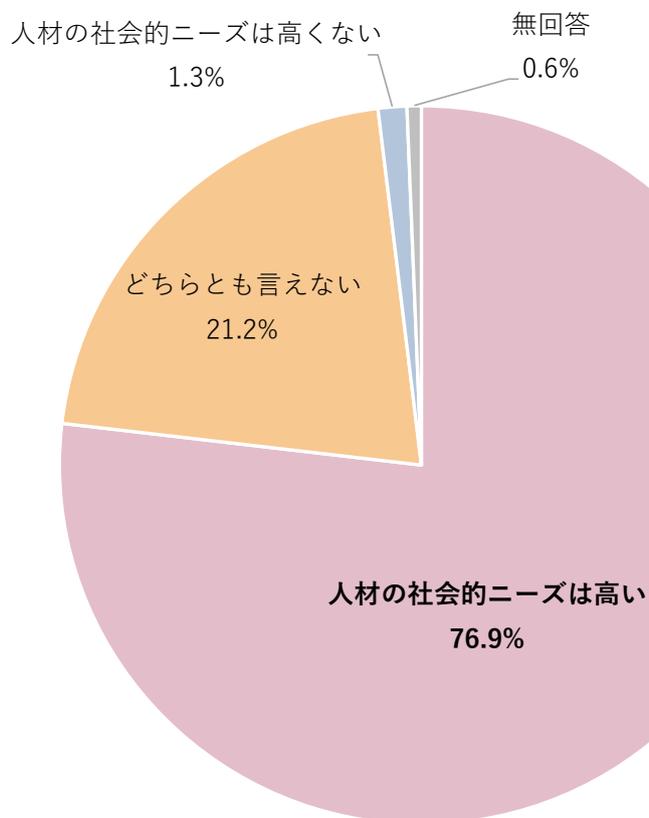
選択肢	件数	人数
1名	44	44
2名	40	80
3名	11	33
4名	4	16
5名以上	33	165
人数は未定だが最低1名	149	149
無回答	1	-
合計	282	487

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

8 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問10

人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについては、回答元の7割以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答した。（601件/76.9%）

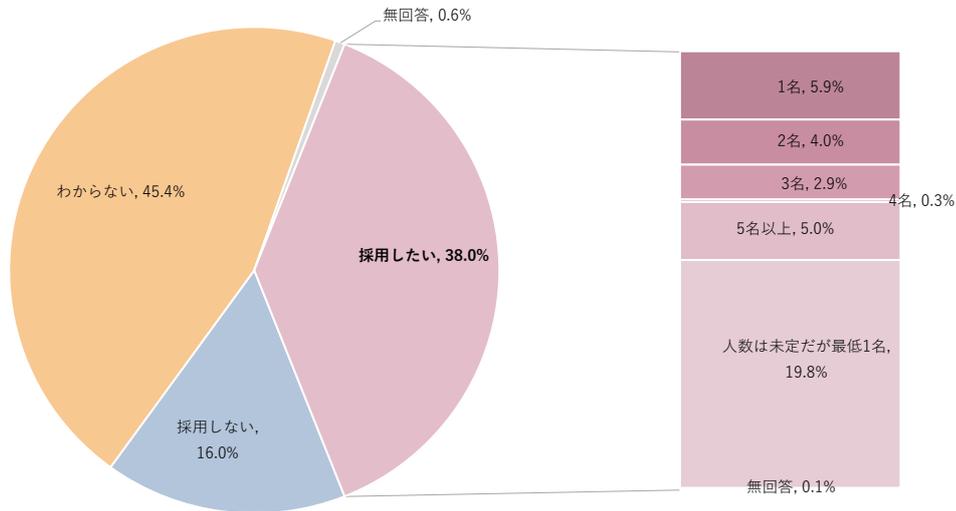
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	601
どちらとも言えない	166
人材の社会的ニーズは高くない	10
無回答	5



9 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問11、問12

人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が297件（38.0%）となっている。

「採用したい」と回答した297件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が535人となっている。



選択肢	件数
採用したい	297
採用しない	125
わからない	355
無回答	5
合計	782

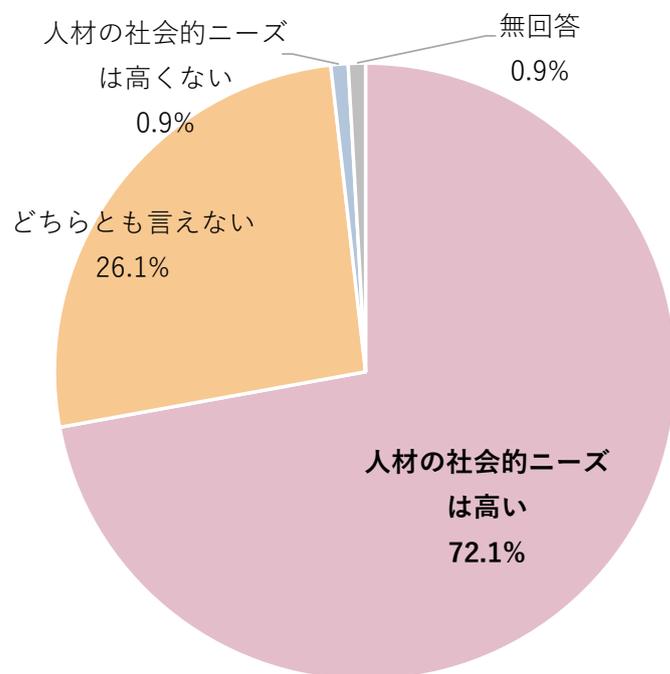
選択肢	件数	人数
1名	46	46
2名	31	62
3名	23	69
4名	2	8
5名以上	39	195
人数は未定だが最低1名	155	155
無回答	1	—
合計	297	535

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

10 情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問13

情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズを回答元の7割以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答した。（564件/72.1%）

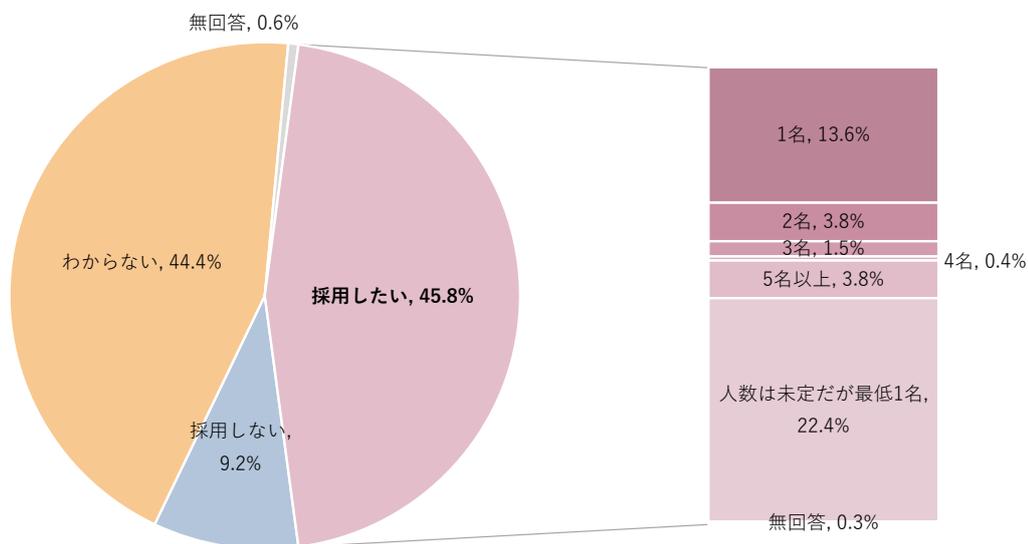
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	564
どちらとも言えない	204
人材の社会的ニーズは高くない	7
無回答	7



11 情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問14、問15

情報科学部「情報科学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が358件（45.8%）となっている。

「採用したい」と回答した358件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が539人となっている。



選択肢	件数
採用したい	358
採用しない	72
わからない	347
無回答	5
合計	782

選択肢	件数	人数
1名	106	106
2名	30	60
3名	12	36
4名	3	12
5名以上	30	150
人数は未定だが最低1名	175	175
無回答	2	—
合計	358	539

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

12 新設学部学科に対し、期待される点・ご要望-問16～問19

※以降、すべて原文ママ

経済経営学部「経済経営学科」（仮称）について
地域での人材確保、人材育成にとっても期待しております。
より実践的な授業が望まれると思います。
・最新のケーススタディを通じて、企業活動やマーケットへの影響を実務的に学べるゼミがあると面白そうです。
・商学部の方が良いのでは
「経済経営」というネーミングに古さを感じる。
地方および地域創生のためには何ができるのかを新たな視点で捉え、起業ができるような考え方やパワーのある人物に期待します。
人間が尊重される経済活動とはいかなるものか取り上げてほしい。
法人運営の総合職、管理マネジメント候補職員としての採用検討
マネジメント、コミュニケーション能力を養ってほしい
現代社会や企業課題を発見し、課題解決や目的達成に力を発揮できる人材育成
マネジメントに必要なリーダーシップの取れる人材を育成してほしい。
周南コンビナートという全国でも有数の技術地域において工学部がないので、地元根ざし若手で有望者を県外、市外に出さないために工学部の方が必要と思われる。
工業、商業の高校はあるのに大学がない
地元に残る人材の育成をお願いします。
今後の日本経済を担う人材育成、海外の人材に負けない知識や発想力を持った人材育成
物流業界において経済、経営といった分野を専攻されてきた学生様は大変重宝されると考えております。弊社としましても是非就職、求人関連のご説明をさせていただけると幸いです。
よくある学部学科とにならないようにしてほしい。
リアルなコミュニケーション力を養っていただきたい
多角視点をもったチャレンジ精神溢れる学生様の育成。
インターンシップへの積極参加。
企業が欲しがらるような専門的能力の開発に期待します。 (経営企画、企業会計、法規ができるような)
県内に類似する学部、学科があるため特色のあるカリキュラムを取り入れてほしい。
周南コンビナートの存在、山口県が化学工業県であることなどを知る学生は全くいないのが現状です。
山口県内の産業の魅力を勉強することで地元就職を促すことも出来るのではないのでしょうか。
以下 すべての学科について共通です。
我々の業種は知識よりも人間力が問われると考えております。
人の機微を敏感に感じとれる人材の育成を期待しております。
将来当社の経営の中核を担う人材を期待しています。
一般的な経済学部や経営学部と貴学の特色がどう違うのか？
または同じなのか早めにアピールとして謳ってほしい。
今はコロナで企業のCM 価格も特に地方局は安いとも聞く。
ネット、TVなど利用されると良い。地方紙の記事広告も良い。
小売業であるため、経済学部卒業の社員は多くいます。
店舗だけでなく、本部スタッフとしても幅広く活躍しておりますので、マーケティングに興味のある学生と出会う機会があれば嬉しいです。
現代の速い動きでも対応できる学生
資格取得のみならず、課題解決や達成に向けた姿勢や力を養っていただきたいです。

交流会や就職説明会など学生の方々と知り合える機会があれば
土曜、夜間に開講する社会人コース 他大学の教授のオンライン講義
経済経営学学科理論を経営どころか、実際に役立つ人材を育成するための学科がよく分からない。
経済経営学部に期待する事は分かりませんが、私は当時の経済学部経営学科にて学びました。 経営学科を選んだ理由は経済だと思いや考え方に偏ってしまい、頭でっかちになりそうなのでより実務を学べる経営学科を選び、現に今30年以上が過ぎ経営者となりましたが、そこで学んだ事が役立っています。 今は1つの学科になったようですが、より実務を学べる学科になってほしいです。
理系要素のある授業をたくさん組み込んでほしい これからの社会は文系のみの人材はコンピューター（AI）にとって関わる。とくに工学系の知識のある経営学科卒業 のるがほしい。
物流現場の最前線で業務や作業を行うことに抵抗感なく、能動的に動ける人材を求めています。
積極的にコミュニケーションを取れること
貴校だからこそ育つ学生等が知りたいです。
経済状況を把握し、行動できる人材を求めます
ビジネスや経営者視点のことを学べる学部だと面白く感じました。
全ての企業で働き方改革が進められている中、労働者と利益追求集団である企業とのギャップを埋めるための経営学は、これからの社会において必要不可欠と思います。
コミュニケーション力の事前育成に期待したい（学部生の4年間で）
経営の理解者（管理者）として貢献してほしい。 後継者問題で会社存続の危機にやる気と情熱で取り組む人材の確保は必要。 M&Aではなく養子的なシステムがあると良い （例）将来の会社運営に興味のある方とか マッチングの時または募集の時に書き込む事で良いのか難しい問題である
企業や地域の課題解決に主体的に取り組むことの出来る人材を育成してほしい
課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材の育成に期待したい
情報科学科にも言える事ですが、近年DX等のデジタル化に伴い、ITでの需要と電子化が課題となっているので、プログラムの基礎が仕組み等の知識があるといいのではないかと思います。
活躍の場（就業の地）を地元でこだわらないでもらいたい。
試験のための学問ではなく、知識として身に付け実践出来る人、時代は変化していますがビジネスマナー、社会人の常識、普遍的な部分は学んでほしい。 人間力、考える力、想像力、相手の立場になって考えること
福祉業界も経営や経済を理解して運営に携われる人材が必要
当社は「ひとり一人のやる気を採用基準に」幅広く学生の採用を行っております。 貴校の学生様におかれましても、是非選択肢の1つとしてご検討頂きますと幸いです。 今後ともよろしく願いいたします。
経済経営学部の卒業というだけでは採用しません。 その学生が取得している資格によります。
地方のマーケティングいかに把握しているかどうかにかかっており、卒業後県外に戻る前提では採用どころではないと思う
経営的な観点から、会社を俯瞰できる人材に期待しています。
どの学部についても、今までの徳山大学からどのように変わるのか、変わっていくのかわからないので答えようがありません。 イメージで採用することはありません。 もっと具体的に各学部で目指す教育方針を少なくとも出してもらいたいと思います。 授業料が安いだけのうりでは困ります。

経営に対する知識のある学生さんを採用したい
中央志向ではなく地方で活躍の場を求めている
4年後にはぜひご縁をいただきたいです。
各業界、職種に適応しやすい学部として企業側の人材ニーズも高いと思います。 ただし、同様の学部は他大学にもたくさんあるという点においてどのようにカリキュラムや体験をさせ、他学と差別化したスキルや経験をもたせるかがキーになると思います。
起業家精神はじめ、自律的に考える人材を担ってほしい
リーダーシップのとれる人材に入社前から育てていただけるのには期待できる
日本企業の海外への展開や外国人労働者が今後ますます増加することが予想されることから、外国語の話せる人材を併せて養成されることを希望します。
経営や経済を学ぶことにより社会全体のお金の流れを理解したり、自身のライフスタイルを描く事ができる人材が育成されると感じる。
・テストの成績よりも実践力が必要 ・コミュニケーション能力（聴く力、伝える力）の高い人材を求めます
どこにでもある
海外との取引や外国人労働者を想定すると、英語の話せる人を養成していただくとありがたいと思います。
学内の企業合同説明会の予定があれば参加させて頂き面談等で物流業に対する知識が高い方がいれば採用に近づきたいと思う。
一般の経済経営関係は特色が分かりにくい。専門などを活かすものがあれば良いと思います。
何大学でも被っていることが多い学科のため、ニーズとしてどうなのかと思う。何か特徴としてある場合は需要も高くなる。
利益を生むために、業種ごとにどのような課題達成が必要か学んでほしい。 損益計算書の読み方も大事。
地域により根ざした教育の実施
地元企業に就職していただける学生が増えるように協力していただきたい
地域社会、地域経済の発展のために活躍できる人材の育成に期待します。（各学部共通）
地元で活躍できる若い人材の育成と地元での就職を可能な限り進めていただきたいです。
福祉施設運営においては、介護保険の下での運営は厳しい状況となっております。 視点を変えて考える事のできる人を求めたいです。
体育会系が望ましい
・経営者の能力向上、営業の能力向上 ・専門学科（工学系）を除く部分の能力向上を期待する
全学部、全学科な共通して、将来を担う人材として活躍する為にそれぞれの専門分野を学んで活かしていただきたいと思っています。
実践的な体験をされた学生を期待したい
IT 情報知識も習得できていれば良いと思います。
事務部門だけの採用は現在なかなか財源不足で厳しいのですが、将来ケアマネジャーやレセプト請求業務などが担当できる者なら施設としても歓迎します。
若者が集まることはとてもよい。 学力向上が必須である。
どの学部にも言えることだが 自分は「最高学府」の卒業者だと誇れるよう 知識と教養をしっかりと身に付けた上で立派な社会人としてチャレンジしてほしい。
経済的知識の探求に加え、積極性、忍耐力が備わった人材の育成を希望します。
面白くなくても、係数重視、経営数学重視の育成をしてもらいたい

企業経営の課題を発見する力は、多くの企業で求められると思います。 当社も必要とする人材です。
地域社会や地域貢献の人材が出てくれることに期待したい
リーダー職など役職がつくにつれ、簿記やマネジメントに関する知識が必要とされるため、その点は期待できるかと思います。
リーダーシップを発揮できる人材に期待したい
福岡県、地方都市の小さな会社です。 業種的、また大卒採用を行っていないこともあり 回答しづらい面があり申し訳ありません。
経済、経営、会計の基礎を学び、視野が広い人材となってほしい。
地域社会の課題に取り組む姿勢だけでなく、何事にも主体性を持って自走できる学生を採用したいと考えております。そのよう学生を多く輩出して頂きたいです。 また、安定志向ではなく、変化を好む学生であると尚、ありがたいです。
コミュニケーション能力→チームとして動ける人材
どの学部にも言えることですが山口県の活性化に是非つなげてもらいたいと思います。
地域の企業の活性化を担える人材の育成を期待する
社員の研究として
時代の変化に柔軟に対応できる能力やスキルを身につけてもらいたい
全学部とも、山口県内、特に周南に就職する事に期待します。
社会に出て仕事をすることで経済を知るという事は切っても切れないので、必要不可欠な分野であると感じる 市場の労働ニーズがマッチを感じない。 県外、海外（留学生のそのまま帰国）ニーズのイメージが強い。 その学生をどう地元と共に産業化させたいのかがイメージが湧かないのが残念です。
教員免許取得
弊社は文理問わず広く採用しております。 実際に経営学部出身でエンジニアとして活躍している社員は多数おります。 ぜひ、ITに興味をお持ちの学生さんにご縁があればと考えております。 将来的には役職者に上がっていく中で、勉強された経済経営学の視点を大いに活かして頂けると幸いです。
幅広く企業活動に興味をもち学んできた方を採用したいと考えます。
課題解決能力、提案力 ビジネスの展開など
経営に関する実務へつながった知識習得をされると良い
福祉に対して熱い心がある方であれば資格を問いません。
当社の将来を担う人材として各事業の所長としてお迎えしたいと考えます。
変化の激しい時代に対応した経済を学び、自ら考え行動できる人材育成をしてほしい。 依存型→自立型
専門学校との差別化、大学である事の強みを活かして物事に柔軟に対応できる人材を育てていただきたい。 経済学は、就職して活かせるものは少ないと思う。 どんな企業があって、何をめざすかを明確にできると本当に何のスキルが必要で、これからの4年間で何を学べばよいかが見えてくると思う。 経済学部に入った目的をまず明確にして、志をもった4年間を過ごしてほしい。
大手化学工場の協賛会社等にも採用のチャンスがありますか？
弊社は大卒新人枠がありません。 申し訳ありません。
・広い分野を学ぶことで、視野を広げる事 ・学生経験だけでは経済、経営を理解することは難しいと思いますので、様々な企業を使って学んでもらえたらと思います。

<p>大学で履修したことを会社で今も活かしているか？と尋ねたら恐らく多くの人が NO と答えます。 高い専門性を仕事に活かそうと思ったら、大学院まで行かないとその場を得られないというイメージです。 だからこそ、貴校には 4 年制の中で社会で役に立つ専門知識、専門技術を指導できる大学であってほしいと思っています。</p>
<p>貴校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。</p>
<p>地域経済の発展に貢献できる人材の育成をお願いしたい。</p>
<p>ニーズがございましたら、学内説明会を実施したく存じます。 毎年 15～20 名近い大卒採用を行っておりますので、貴学の学生にも是非興味を持っていただけたら幸いです。</p>
<p>学部、学科に限らず地域経済、地方経済の活性化に前向きな学生を育てていただきたい。</p>
<p>すぐ辞めない 電話に出る 嫌な仕事もやる</p>
<p>会社として新規事業を積極的に立ち上げているので、経営について専門知識をもった方を歓迎します。</p>
<p>どの学部においても、学生自身の社会生活上のキャリア、また社会からのニーズを思考するために必要な観点から、専門教育においても知識、情報の提供、養成を期待します。</p>
<p>積極性、コミュニケーション能力、パソコン能力、専門知識の強化を求めます。</p>
<p>地域振興の為の授業修得（カリキュラム）必要</p>
<p>弊社では店舗ごとに経営をするスタイルですので、課題の発見、解決の能力は非常に活かせると考えます。 また、経営をするにはリーダーシップ力も必要ですので、こちらの学部の目指すところは、どんな企業でも活躍できる人材となるものと期待できます。</p>
<p>地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザインと 3 つの履修プログラムで各々の専門性を深めることができると同時に 3 つのプログラムを横断的に履修できるなど画一的ではなく学生一人一人の考え、方向性を重視したプログラムで自分の意志をしっかりと持った人材育成が期待できる。</p>
<p>DX 対応に期待したい。</p>
<p>当社は学部学科に関係なく、人間力重視で学生さんを採用しております。 採用人数についても決まりはございません。よろしく願いいたします。</p>
<p>大学で学んだことを基礎として、社会、会社で求められることを自分で学び続け、そこから確固とした自分の社会、会社で役立つスキルを作り上げる。 このような意識を持つ学生を求めています。</p>
<p>地元で就職し、経営まで出来る人材を育成して欲しい。</p>
<p>少子高齢化問題が深刻化している中、当社の人材派遣業界も次世代を担ってくれる若手の社員確保は非常に重要だと考えていて、そんな中、貴校の新しい学部ができるニュースは非常に期待できると思います。</p>
<p>経済での市場状況の把握と分析ができ自社商品の戦略立てができる人材</p>
<p>様々な目線から課題にアプローチする力を身に付けられること</p>
<p>公立の経済経営学部は珍しいと思うので、地域と連携した学びをされることを期待します。</p>
<p>日本経済新聞などを読んで、経済に関する現状を理解できる人材の育成をお願いします。</p>
<p>現状通りで問題はないと思います</p>
<p>就職後、幹部候補としてはリーダーシップを発揮できる人材の育成を期待しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業インターンシップへの参加（単位付与） ・学内企業説明会の開催（①一つの業界に特化 ②様々な業界を集める） ・地元企業とのコラボレーション（学生ならではの視点をいかした商品企画等）
<p>就活が始まる頃に、自信を持って経験を話せるようになってほしいです。（全学部共通）</p>
<p>公務員に準ずる団体として、将来病院の舵取り役を担う事務職員を育成したいため、現代の動向を読み取る力、リーダーシップ等、組織人に必要な要素を身に付けた学生さんを是非採用したいです。</p>
<p>学部、学科名はともかく、どういった学習内容やスキルが身につくかが重要。 質の高い人材であれば、全国から注目期待が高まると考えます。</p>

社会保障についての今後の見通しについて学習していただき、今後の社会福祉の方向性について検討できる人材を期待している
先のことを予想し、対応できるように広く学んでいてもらいたい
施設の中においても、総合的な政治、経済の諸政策について知識を持っている若い人は必要です。
せっかく周南市に設置するのであれば、地元の企業に就職して活躍できる人材を育てていただけるよう期待します。
課題を自ら発見して解決する能力の育成に期待します。
人材の社会的ニーズおよび地元経済界の期待は大きいものがあると思います。 地場中小企業も期待しております。
人材の周南圏域での就職
ミクロな視点ではなく、マクロな視点を持つことは良いことだと思う。 ただ頭でっかちにならないよう。 その為に必要な法律や、付随知識等点ではなく線で学び、アクションに至るまでの道筋を提示することが必要だと思う。
すべての学部に通しますが、弊社が求めているものではありません。
自由な発想により業績向上に貢献できる人材を送り出していきたいと存じます。
経営を学んで、自身で会社を興す能力がつくことを期待しています。
大学で学ぶ経営と実際の経営は同じようで違います。 離職が多いのも、その理想と現実のギャップが違うからだと考えます。 社会人の授業やインターンシップ等を通じて、現実も知って学んでほしいです。
企業の中心的人材となるべく、経営全般知識を習得してほしいです。 経営に関する学際的な学びも積極的に行ってほしいです。 経営と情報、経営と健康、経営と地域貢献、経営と環境などです。
・地元の経済界をリードできるような人材の育成 ・優秀な人材の地元からの流出を阻止できるような特色のあるカリキュラムの構成
座学だけではなくフィールドワークも経験
学生さんにとって魅力ある学部であれば、学生数も増えて地元は活性化すると思います。 当社を含めて、地元の企業への学生さんの関心が高まれば、採用につながると思います。
企業が発展し続けていくためには、課題発見を行い実行にうつせる人材が不可欠だと思います。 経営の知識を持ち、行動力のある方々のニーズは高いかと思っています。
簿記、会計の実務と文書作成の実務のイメージが学科名にあるとよい。 企業活動マネジメントなど。

人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）について
本音を言うと、お金との直接的な結びつきが将来的に考えると低い学科なのかなと思います。
人間工学や臨床系など人間科学の中でも理系寄りのカリキュラムを充実させると面白そうです。
人生 100 年時代といわれますが、実際には高齢者施設で動けない人も多い。 本来の健康寿命を延ばすことと、その専門の知識者の育成を周南エリアから発信できるように希望します。
体を大事にして、人間としてバランスの取れる健康を科学してほしい
工場等で作業時、体の負荷軽減や体のケアを指導できる人材
地域の活性化に貢献される人材の育成、教育に期待します。
学生生活でスポーツに携わっていた学生さんが営業に興味を持ってくれることに期待します。
注目している
健康寿命延伸のためこれからは「予防」に力を入れないといけないと思っています。そういう人材を求めています。
鍼灸やあんまなどの資格が取れるとスポーツ界では重宝されると思います。（柔道整復師など）
弊社は健康に関わる事業で営みを立てていますので、つながりはあると思われます。
高度な知識、技術を持った専門性の高い人材の育成が良いと思います。
旧徳山大学のように優れたスポーツ選手を入学させることが出来ないのであれば、廃止すべきではないでしょうか。税金の有効活用を期待します。
健康経営ニーズ指向への期待感から
卒業時に国家資格を取得できる体制作りをしてほしい。 ex 健康運動指導士、健康運動実践指導者など
セルフメディケーションの観点から、登録販売者の資格取得支援もあると良いのではないかと思います。
福祉施設や、支援を必要とする方々や子ども達に、スポーツやからだを動かす機会をつくり、体力の向上、自己肯定感を高め、社会参加を積極的に行える指導者、人材を養成して頂きたいです。
2020 年に貴学（旧経済学部ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース）を卒業いたしました。 在学中には、中学校、高等学校（保健体育）（商業）の教員免許とバスケットボールコーチライセンス C 級を取得させていただきました。 実践する機会を多く頂き、このような資格や経験を得ることができたと感じております。 ぜひ、これから同じ道を進む学生方に対面での実践力が磨かれるサポートをしていただけたらと思います。
当社はスポーツ施設の運営・管理を行っておりますが、コロナ禍以降フィットネス業界は深刻な人材不足に直面しています。 コロナの影響によるサービス業離れが大きな要因ですが、業務委託という働き方にも原因があります。 最近ではパーソナルトレーナーが注目されフリーで働きたいと思っている若い方が増えました。 専門学校ではパーソナルトレーナーだけでなく、ストレッチ系、整体系の業務委託で働くことをすすめる事も多いようですが、新卒で業務委託で働きはじめたが、客がつかず、食べていけず、やむなく当社の中途採用にエントリーしてくる方が多くなりました。中には他業界へ転職してしまう事も多いようです。
スポーツ健康科学科がどのような人材を目指しているのか分からない
治療から予防への時代となり、非常にニーズが高くなると考えられる中、専門性とスキルの高い人材が求められると思います。卒業後、なるべく短い期間で戦力となる様な授業カリキュラムと実践の経験を積める仕組の充実を希望します。 また、“人間力”が上がるカリキュラムも希望します（社会人外部講師の登用など）
スポーツを通して健康や地域の活性化を行ってほしいです。
スポーツ健康科と言われると、業務とかけ離れてきますので「健康・安全」をテーマとして、企業の取組を実現できる人材を育成される学科であれば、ニーズは多いと思います。

<p>劇的な環境の変化によって、身体も精神も健康を保つ手が以前より難しいと感じる。スポーツの考え方を通じて、現在にアジャストしたマネジメント力を有した人材が増える事で、人間本来の姿での社会活動が営めれば良いと感じる。</p>
<p>忍耐力や体力、ねばり強さ等に期待します。 営業職（ルート営業）の採用を積極的にしていきたいと思います。</p>
<p>弊社は厚生労働大臣認定健康増進施設、指定運動療法施設の管理運営を業務委託されているため、社員は健康運動指導士または、健康運動実践指導者の有資格者としています。 貴校で新設のスポーツ健康科学科にて資格が増える事に期待いたします。</p>
<p>弊社は、子ども向けスポーツスクールを展開している会社です。 2年前に、山口県にも開校しました。 人材が確保できれば事業展開が広がられるため、当学科の新設に期待しております。</p>
<p>高齢化が急速に進んでいく中では、“健康”は更に重要な人生におけるポイントになります。地域に根づいた活動は、地域の活性化直結すると思いますので、若い世代の方の積極的な地域参加を期待します。</p>
<p>スポーツビジネスについても学べる環境を期待します。</p>
<p>これからの高齢者は、できないことが増える中でもできることでいろいろスポーツを楽しみたいと考えていると思うので、そのあたりのプラン等を発信できる学生を採用したい。</p>
<p>スポーツや健康といった視点はどの業界にも必要とされるもので、 そのための基礎知識や経験は各所で活かすことができると思います。 大学で学ぶ際も専門的な仕事、職場のイメージだけではなく、健康経営や心身ともに健康が重要視されていることを広く視野で身につけてほしい。</p>
<p>生涯スポーツ指導員、教員（保健体育）の育成に力を入れて欲しい めざせる資格の部分でアシスタントマネージャー資格は強みになると思いました。</p>
<p>これからの医療は地域へ健康寿命の延伸を魅力的に発信することも大きな役割だと考えます。 その大切な役割を担える人材を育ててほしい。</p>
<p>コロナ禍を経て“出勤の必要性”が問われぼろりモートになった者も少なくない。 ここから更にスポーツ健康科学の必要性は高まると思う。</p>
<p>最近増えてきた学科であり、もう遅いのではないか。 ただし、公立の強み（学費が安い）を活かしての学生獲得は期待できる。</p>
<p>スポーツを通して健康や、地域の活性化を行ってほしいです。</p>
<p>内容的に社会の受け皿が少ないと感じる。 学習内容にPT、OTが必要かと。</p>
<p>スポーツを通して、心技体を養い、人間力向上できる環境で育った学生を積極的に採用したいと考えております。</p>
<p>他校は「体育科の教員育成を目的にしている」と伺うことがある。 どのような特色を出され、どのような就職をされるのかを明確にされたら良いと思います。</p>
<p>高齢化や予防医学の観点から必要性が高い</p>
<p>スポーツをしにくる学生の受け皿とらないか心配</p>
<p>社員の健康維持にも役に立つのではないのでしょうか</p>
<p>福祉施設では、高齢の方の利用者が対象です。 要介護状態となった利用者について、人間の健康という分野から見て日常生活を送る事が出来るかをサポート出来るのではないかと考えます。</p>
<p>体育会系が望ましい。</p>
<p>在学中にチーム帯同経験など積んでいただきたい</p>
<p>建設業などでは、外部で働く仕事为主なので、そういう仕事に対応出来る人を希望しています。 そういう仕事を希望する人が非常に少ないです。</p>
<p>将来のOT PTさんの補助ができたり、体力的に自信のある方なら免許取得（介護福祉士など）に向けての勉強もできますし、ライセンスがあれば、給与の面でも手当が付きよいのではないのでしょうか。</p>

健康志向が高まる中、「予防」の観点からスポーツと健康づくりの取組みが重要になると思います。
健康寿命の延長が健全なる国家運営に寄与すると思う
スポーツを通して明るく元気な人材と多くの企業で求められると思います。
必ずしも当社の事業に合致するものではないかもしれないが多様な人材の育成と輩出をお願いしたい
ワークライフバランスが重要視される昨今、スポーツを通じ組織のリーダー（健康生活・労災防止）となる人材となって欲しい
部活動の地域移行や各種スポーツイベントの企画運営等総合的にコーディネートできる人材育成を期待する。
弊社が食品会社ですので、スポーツに関する食品の知識、開発に期待します。
インターンシップを1年生から派遣してほしい。
スポーツを通してのチームワーク
理学療法士、作業療法士の資格取得の門扉も検討して頂きたい。
スポーツ系の部員は就職時に惑うことも多いと聞く。
自らの経験を活かし、運動を通じて社会とのつながりを喜びとできる人材の育成をしてもらいたい。
健康寿命を伸ばそうと意識高い方も多くなっていて、ジム等通われる方も増えているのでこれから活躍できる分野と感じる。
山口県内の関係施設や団体との連携をとり、学生のときから交流し、現場で必要とする人材、資格等を取得できるように。
就職後、即戦力として活躍できる人材やプログラム開発を育成してほしい。
教員免許取得
熱中症等、製造業の現場に利用できる知識を習得されると良い。
スポーツ健康学を履修された多くの方が当社で活躍しています。
人生100年を想定し、「健康寿命を上げる」ためのスポーツの取組みを地域と共創してほしい
これから日本のスポーツレベルを上げる為には、もっと身近に学べて、取り組めることが必要だと思う。ただ、仕事の飯が食えるかといえばシビアかもしれない。
特に官が主体的に道を作ってあげれば、明るいのではないだろうか。
類似する大学も少ないと思いますので、スポーツ健康分野に関心のある学生の学習の場として選択肢を広げて貰えたらと思います。
当社はスポーツ経験豊富な学生も多数活躍しています。
是非よろしくお願い致します。
御校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
スポーツの知識、キャリアを社会に生かしてほしい
特にございません。
メンタル面の事務についても学ばれると強みになると存じます。
人生100年時代と言われるが、健康寿命の貢献する専門指揮者の養成は重要になってくると思う。
現場作業員として即戦力として期待する。
将来のビジョンは現場監督。
・子供から高齢者まで幅広く健康増進に関われる人材を養成して頂きたい。
・地域のクラブ活動（スポーツ少年団や中学校の部活動）へ積極的に関われる方が増えると良いと思います。
スポーツを通じて人間形成をして欲しい。
幅広いニーズに対応できる基礎基本がしっかりしている人材（専門性より基礎学問）様々な指導対象現場に興味を持ち、成長志向が高い人材
健康経営に取組む会社も増えており、一般企業では活躍の場があるのではないかと思う。
幅広い知識。専門的すぎない方が良いと思います。
スポーツを通して地域の活性化を実現されることを期待します。
知的な分野に加えて、体力的・実践的なカリキュラムをもって多彩に備えてわかりやすく明示してほしい。

<p>わざわざ新たに設置する学部として、地域社会にとってそこまでニーズのある学科（学問）なのかや疑問を感じる。</p> <p>それよりも、周南工業地域に構える大学としては、理工系学部の設置および優秀なエンジニアを育成されることを期待します。</p>
<p>身体を動かすことが健康につながり、健康を維持することが国の経済に良い影響を及ぼすなど広い視点をもてる人間を育ててもらいたい。</p>
<p>スポーツのできる人材、スポーツの指導ができる人材を育ててほしい。</p> <p>障がい者施設の生活指導員として、スポーツのできる人が1名ほしい。</p>
<p>各大学のスポーツ科は所属選手のみフォーカスされることが多いですが、スポーツに対するマネジメントや分析、情報科学が表に出るようになれば、いわゆるセミプロの方を引っぱりあげられると思う。</p>
<p>組織をまとめることにより、業績向上に貢献できる人材を送り出していきたいと存じます。</p>
<p>スポーツには色々な可能性があり、スポーツ経験で培った力は仕事においても大きな力を発揮できると思っています。</p> <p>また、これからの日本は健康が注目されると思っています。</p> <p>ですので、健康を広める事業を展開できる能力がつくことを期待しています。</p>
<p>少子高齢化が一層進む社会において、健康、運動は非常に重要性が高まってくると思われれます。</p> <p>健康寿命を延ばすことや、生涯スポーツの推進などによって、地域の人々のQOLを向上させることのできる人材を育ててほしいと願います。</p> <p>企業においても、健康経営の取り組みが盛んとなってきていますので、社外リソースとして、または社内人材としてどのように取り組むことができるのかなど勉強していただきたいです。</p>
<p>教育や子どもへの支援という目的を持った学生の獲得に期待しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地元高校からの優秀なスポーツ人材の確保 ・地元の特色あるスポーツの強化（レスリング、バトミントン、ハンドボール等）
<p>PCスキルも身に付ける</p>
<p>超高齢社会において、スポーツ健康科学科の学びは非常に役に立つものかと思います。</p> <p>弊社では福祉用具専門相談員として、道具を通してご利用者様の生活をサポートしております。</p> <p>こちらの学科で学ばれた専門知識や技能を活かしていただきたいと思います。</p>
<p>スポーツビジネスが拡大していく。</p> <p>地域のスポーツ団体への科学的トレーニングの必要性。</p>

人間健康科学部「福祉学科」(仮称)について
介護福祉士のプロフェッショナルを育成して、深刻な人手不足を解消してほしいです。
介護の現場では、質の悪い介護士の話をよく耳にしますので、学生時代の教育で意識づけをしてほしい。
現実問題として現場の人間が足りていない分野だと思うので、その点を学んで欲しいと思います。
バイオ系を売りにすると面白そうです。より医学に近い学問の充実。
スポーツ健康科学科にも通じることですが、健康寿命を伸ばして認知症等を予防するため、または発症しないための研究をしてほしい。
福祉をする側とされる側の意見が違うテーマを取り上げてほしい。
日本の福祉を支える人材を育ててほしい。
最近の若者は福祉といっても相談支援希望などと言うが、現場経験のない者では良い相談支援はできない。現場の介護、支援のプロを育てる学部となっていただきたい。
社会に必要とされる分野であり、知識の高度化により就職後に高い所得水準を得ることが可能となる様な教育をお願いします。
高齢化社会や格差のある社会における人材育成と介護サービスに理解があり魅力を発信できる人材育成
保育、介護のニーズはかなり高いので期待しております。
福祉人材増加の起爆剤となるような人材育成を期待
理学療法士や作業療法士の資格が取れると幅広く活躍できると思います。
現在、社会福祉業界における人材確保は、我々の業界の最大の課題となっています。
必要な職種として、保育士、児童指導員、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士等ですが、こうした資格者の育成を大いに期待します。
当社は小規模のため、栄養士、調理師の採用しかしておりません。
社会福祉主事任用資格の取得者は採用時において期待したい
学生の方の希望では、ソーシャルワークを希望される方が多く、利用者に近い現場やケアワークに興味を示される方が少ないように感じます。
ソーシャルワークを行う基盤として、現場やケアワークの重要性を認知して頂けるようなカリキュラムを希望します。
(現場実習含む)
理想と現実のギャップが大きい分野であるため、社会に進出した時に自分自身のメンタルを保つことが重要であるため、そのようなカリキュラムがあっても良いのではないのでしょうか
福祉人材は不足しており、ぜひ設置してほしい。
平均年齢層が高くなるにつれ、必要性が求められる
必要とされている施設等へ、共に活動し支援する人材を育成して頂きたいです。
地元で活躍する、福祉、介護人材の育成と輩出に力を入れていただきたいです。
看護師、介護士との養成の方が社会的ニーズは高い
介護職員初任者研修を必須としてほしい
介護福祉士取得プログラムがあると、福祉施設などでは活躍の場が多くあると思います。
ぜひ在学中からフィールドワークを実践し、地域によって様々なニーズがあることを体感して頂きたい。
福祉のニーズは今後更に高まるものと思います。
ただ当社の業界とはミスマッチになります。
福祉都市を目指し、若者を教育していただきたいと思います。
福祉は、これからの社会では重要な分野です。人材育成だけでなく、福祉業界で働く者の地位向上と技能向上にも尽力いただける学部である事を期待します。
今後、現在においても人材が不足しており、求人を出してもなかなか応募がないのが現状です。専門的知識を習得後であれば即戦力になると思われれます。
利用者さまの目線での福祉職養成に期待します。

田舎の老人施設で働きたいというケアマネジャーを育てていただきたいです。
社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等 資格の取得
本会の職員採用は、出身学部を限定しておりません。 福祉学科のみならず、貴学学生のご応募をお待ちしております。
社会福祉士等国家資格者のニーズはますます高まっていく
福祉学科の開設は超高齢社会のニーズに合っている。 当社の事業とのマッチングも高いと考えます。
複雑化している問題を広い視野で受け止められる人材が必要
ニーズは高いと思いますが、弊社イメージは沸きません。
社会福祉法人なので、福祉について学んでいる学生さんを採用したい
障害者への対応
福祉系の学部学科が減少していく中で、新たに福祉の人材育成を行って頂ける学部学科を新設して頂ける事は、ありがたい事ですし、福祉のプロフェッショナルを1人でも多く輩出して頂ける事を期待しています。
業界における人材不足の状況は深刻だと思います。 ぜひ1人でも多くの福祉業界に携わり、そして業界へ新しい風をふかせられるような人間力の高い人材育成をお願い致します。
高齢社会におけるリーダーとして活躍できる人材を育成してほしい。
福祉学科は全国的に少なくなり、困っている。 高校にきちんとアプローチし、それなりの学生が確保できれば大いに社会に貢献できる。
福祉業界で勤務する場合、福祉の知識だけでは難しい為、精神まで学べる学科が良いと思われる。
福祉の現場では、ソーシャルワーカー的な人材よりも、ケアワーカー的な人材不足が深刻で必要とされる数も多い。 また、現実的に現場経験の有無が相談業務の内容にも影響する事も否めないと思われるので、福祉学科のめざせる資格に介護福祉士受験資格がないのはいかがなものかと考える。 また、日本人の若者の絶対数にも限りがあるため、介護福祉士を目指す外国人留学生確保も検討してほしい。
高齢化社会に向け必要性が高まる
実践的実習経験による自分の就業意識の確立をさせる教育の実施
高齢化社会となってくるにあたり、福祉関連は必要不可欠と思う。 学生数がどれほど確保できるのか気になるところ。
めざせる資格として、社会福祉士を持って入社される学生の方がチェリーゴードにも多数います。 山口から入社される方も毎年1名以上いますので、安心していただければと思います。
当社での採用はないと思うが、大事な仕事の資格が取れる学部だと思う。
福祉分野において人材不足が問題となっている。 求人に対して応募が無く、現場は真綿で首をしめる様にだんだんと疲弊していつている。 公立の大学としてこの問題を解決出来るように人材育成に努めてもらいたい。
当法人は福祉施設を運営しています。 福祉人材は不足しています。 専門的知識を持った人材を採用したい。 福祉に関わる人の地位向上を目指していきたい。
介護人材が不足している。 確保に大変苦勞しているので、ぜひ介護福祉士の資格が取得できるようお願いしたい。
福祉学科の方は社会福祉士、ケアマネジャー、介護福祉士など介護系の施設には必須の分野なのでぜひ活躍してほしいです。
医療と福祉の連携が取れる人材が必要と思います。
必ず重要になります。 マスコミに流れるハラスメントを起こさない、起こさせない学習を希望します。
今後の日本は高齢化が進むので必要だと思います。

必ずしも弊社の事業に合致しないものであるかもしれないが、多様な人材を社会に輩出していただけることを期待する。
介護福祉士、社会福祉士等の実務の資格。 初任者研修やその他社会福祉分野の資格。
これからの高齢化に向け、必要とされていくと思う
ケースワーカーとして勤務できる人材育成を期待する。
介護福祉士の資格取得ができるようなカリキュラムをお願いしたい。
これから益々需要が高まるのは間違いなく、地域に就職することを積極的に支援してもらいたい。
介護福祉士の養成をして頂きたいと思います。 若い人が夢を持って介護を担えるよう、大学と介護の現場で協力しあえると良いと思います。
寿命も上がり高齢化が進んでいるので、仕事にするにしてもプライベートにしても必要な知識だと思う
地元でもニーズを感じるが、弊社にはイメージができない
福祉という観点で、社会からのニーズは高いと思われます。 ご高齢の方や社会的弱者の方と実践的にコミュニケーションを取りながら学び、相手に配慮できるような人材に育つとよいと思いました。
高齢者への社会的な対応が望まれる
社会福祉士の資格を取得いただいて地域福祉や相談、援助に興味のある方、学校でスキルを身に付け受験していただきたい。
まさに当社の求める学部です。 ケアスタッフというスペシャリストで活躍していただきたいと考えます。
元々ニーズの高い分野ではあるため、福祉関係の仕事を目指す学生を社会に送り出してもらえることを期待したいです。
マインドフルネス 心身の健康について学び、地域に貢献してほしい。
その学部で学んだ学生が他事業に就職するのではなく学んだ事を活かせる業種に就職する学生が多いとありがたいと思います。
人手不足が深刻な業界だが、新しいアイデアで対応することへの可能性に挑戦してほしい。
福祉人材不足なので、福祉の現場で働く福祉力のある学生の養成を期待しています。 弊社は児童養護施設を運営しており、ぜひ、私たちと一緒に子ども達の支援をしていただける方が増えることを願います。
社会福祉だけではなく介護福祉士の資格を得られるプログラムがあれば良い
電カルなので、PCを多少使えた方が良い。 実技よりも、責任感やチームワーク力を高められるような人を育ててほしい。
問 16 同様
学内就職セミナーや企業、業界研究セミナーがあれば参加させて頂きたいです。
貴校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
現在の超高齢化社会において、介護人材のニーズはかなり高い。 ご縁があれば、多くの人材を採用したい。
どうあるべきかを考えられる、社会の中で隙間になっている部分に気づける、感性の器用さを育むなどペーパー上だけではない学びのできる学科となってほしい。
会社で訪問介護事業を行う予定なので、専門的な知識をもった人を積極的に採用したいと考えています。
周南公立大学福祉学科を卒業された生徒さんには、周南市及び下松市管内で就職していただければ良いと思います。
対応力を身に付けるためボランティアで相談経験を積んだり、幅広い人間力を培うようなカリキュラムがある といいと思います。
社会福祉士の資格を取られ県内に就職されることを期待します。（県内就職はどの学部も共通です。）

当社では必要無いが専門の知識を持った人材を社会は多く必要としている
将来的に人材の深刻化が見込まれる福祉の専門職養成校として大いに期待します。
約3人に1人が65歳以上である高齢化社会のなか、医療従事者の養成は高まっており人材の確保は重要。時代の要請に対応した新設であると思う。
業種柄、弊社にニーズがないと考えます。
人手不足となる分野ですので、教育、育成機関が増えると心強いと思います。 事業所の運営にも関わられるような、運営にも興味を持つ人材が育つと良いと思います。
高齢者や障害者そして子どもなど社会的に弱い立場になりがちの人々への施策も人権を中心とした価値観の変化により大きく変わろうとしています。 人権意識をしっかりと身に付け課題に積極的に取り組む人材育成を期待します。
福祉に関する専門的な知識と実践に役立つスキルを身に付けて頂きたいと思います。
福祉、介護の本質を理解している人材
地域と連携して実践的な学びをされることを期待します。
看護学科は医療病院との連携ネットワークをしっかりとつくってほしい。 福祉学科はややもすると抽象的になりやすいので、具体的なカリキュラムを外部からでもわかるように明示してほしい。
介護実務にあたる人材確保が困難なため、このままでは介護職員の不足から事業継続が困難になることも危惧される。 公立大学として、周南地域の福祉を支える人材の育成をしていただきたいと思います。
福祉、介護について当法人で活躍が大いに期待できるので、即戦力としての採用を考えている。 ぜひ実習に来ていただきたい。
福祉の分野から社会を動かせるように広い視野を持ち、多方面と関わりながら責任をもって福祉の分野を充実させられる人材を育ててもらいたい。
社会福祉士の資格の取得は、卒業時および卒業後となると思うが、当園では資格取得の援助をするので就職してから資格取得という方向を考えてほしい。 福祉の世界はチームワークで行う仕事なので、豊かな円満な人格の人を育成してほしい。
高齢化社会の中、人材を養成される学科を新設されるかもしれないということは非常に有意義で、期待値が高いです。 ゆくゆくは定員を広げて、幅広く人材を集めて貴校の名を高めていっていただきたいと存じます。
年々複雑化、多様化、深刻化する福祉課題の解決に向けて、幅広く柔軟な視点を持った福祉人材の育成を期待しています。 すぐの採用予定はありませんが、ご縁がありましたら一緒に働けると良いと思います。
介護の需要曲線や障害、児童の分野において分析をすれば非常にこれから約2040年までは需要が一定担保できることがわかるが供給側の人材が圧倒的に不足することがわかる。 3Kであるが、政府としても重要な業界と位置づけており、また世界的にみても諸外国にまだ優位性がある業界である。 また、「地域貢献」のニーズの中で福祉は一部であるとPRすれば若者の関心も引けるのではないか。
知識を活用し、交渉を重ねながら課題を解決することにより業績向上に貢献できる人材を送り出していきたいと存じます。
私は徳山大学の時に福祉情報学部在籍していました。 現在は福祉とは異なる業界の企業で勤務していますが、高齢社会に突入する日本において福祉を学んでいた事がとても役に立っています。ですので、これからの日本の重要課題に向き合う学科として期待しています。
福祉は様々な立場の関係者と円滑なコミュニケーションを取りながら問題解決に取り組むという能力や方法を学べると期待します。そのような能力は、福祉業界のみならず一般企業でも大いに役立つと思います。
社会福祉の幅広い知識と熱意を持った学生の獲得に期待しています。 そのために施設として、大学にできる支援があれば協力して行いたいです。

- ・福祉学科、看護学科については幅広く対応できる人材の育成
(リハビリテーション関連の学科の検討等)

福祉力のある人材はこれからの時代、ますます重要度が高まっていくかと思います。
また ICT や最新機器の導入等、エビデンスに基づく科学的な介護を行っていくうえでは情報技術のある若い世代の方々への期待は大きいものがあります。
道具を活用しながら、サービスの質の向上、介護をする側の負担の軽減につなげていただきたいと思います。
福祉用具や最新機器等で何かお役に立てることがありましたら幸いです。

福祉現場、福祉情報への情報機器の導入を拡大していく

情報科学部「情報科学科」（仮称）について
専門性の高くないSEのニーズが高まっているので、スペックが中間層のSE候補をたくさん生み出して、企業と連携して就職まで結びつけられるようなポジションの学部になることを期待します。
Excel、Word、PowerPoint等の知識があるとより良いのではないかと思います。
中小企業にも必要な人材となると思います。
おもいきって滋賀大学のデータサイエンス学部のような学部の方が面白そうです。 社会人コースがあれば聴講したいです。
今後のDX化で一層情報については重視されるので、デジタル社会を生き抜くためにどうすれば良いか、地元中小企業へのアドバイスができることを期待。
必要ないように思う。数学か物理の面から情報科学を研究するのが良いように思う
IT企業での即戦力となる人材の育成をしてほしい。 基本情報、応用情報は2年生までに取得し、3年以降はプラスアルファの資格に挑戦してもらいたい。
弊社においては情報学部の卒業生様は面接を是非させて頂きたい要望でありますので新学部新設後ご連絡をお待ちしております。よろしく願いいたします。
AI、DX等必要な人材がほしい
ビッグデータを扱うためにデータベースの構造を理解してほしい。 (システム開発でつまずきやすい部分のため)
スポーツも経験があるPCだけではない人材
日本が遅れている分野であり、人材育成に期待しています。
情報系に詳しい学生さんが弊社に入社することを期待しております。
DX推進に伴い社内SEとしての求人募集を予定しておりますので将来的にお声掛けさせて頂きたく存じます。
よくある感じにならないようにしてほしい。
これからの社会で最も必要とされる分野だと思います。
近年、DX化が進んでおりますのでニーズは高いと思われます。
DX人材など今後必要とされる人材の育成を期待しています。
自動車学校は特にIT化が遅れている業種なので、SNS、HP戦略、社内ネットワークの改善に興味のある学生に期待しております。IT関連に特化した専属部署が弊社にはあります。
ゲーム開発以外のデータベースやネットワーク（通信）などに強い人材の育成に期待します。
製造業においてITエンジニアの人材確保は年々厳しさが増えています。 中小企業の中にも優れた技術力を持った会社も多くあり、ITエンジニアが増えることによって採用できる可能性も高まりますので、地元での人材育成を期待しています。
情報系の企業だけでなく、一般企業にも情報系の社員が必要できる。 一般企業では、ネットワーク構築、アプリケーション設定だけでなく会計や勤怠をある程度理解しなければ

ばシステム設計をすることができないため、会計や労務の基礎的なカリキュラムを導入すると良いと思います。
情報化社会への今後の対応
柔軟なシステム開発ができる人材
IT エンジニアが不足しており、技術レベルの高い学生の採用が社内でも課題となっているため
福祉業界の IT 化に対応できる人材の育成を願っています。
情報科学科でどういう人材を育成するのかイメージがわからない
データサイエンティストや SE を募集しているので、専門的に学んだ学生を是非採用したいと思います。
エンジニアのニーズはあると思いますが、実用的な採用は見込めないかと思います。
プログラミング資格を持った学生であれば採用したい。
データの活用のしかた、分析されたデータから何を導き出すかが学べると面白いと感じました。
これからの情報社会において、必要不可欠な人材であるにもかかわらず企業では部署や部内の位置づけがない状況です。
情報処理が企業の利益に直結している事を知らしめる学科にして下さい。
建設業でも電子入札、見積等書類の PDF 化、出退勤管理をスマホで処理する等、デジタル化が進んでいますので今後も必要な人材になると思います。
実用的なプログラミングやエクセル VBA のスキル育成が望ましい。
コミュニケーション力の事前育成に期待したい (学部生の 4 年間で)
電気設備工事の会社のため、技術職を必要とする。
本人の希望に合う職種であるかは疑問。
建設業は選択に入らないのでは？
IT を用いて、企業や地域の課題を解決できる IT リテラシーの高い人材を育成してほしい。
IT 部門がありますので
中小企業の DX に取り組んでもらえる人材を輩出していただければ有難いです。
卒業時点でどれほどのスキルが備わることが分からないが、データを分析した後に、それを基に応用し具体的な行動目標の設定までができる人材であればニーズは高いのではないかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・実務イメージした学習や実習の実施 ・FE 以上の資格取得 ・大学と企業の協定型インターンシップの実施
DX に貢献していただきたい
弊社であれば、高齢者である農業従事者へ情報をどのように発信するか、また IT、IoT に対しての教育をどのように提案するかが重要になるため、提案力、応用力が必要であると考えます。
DX を推進するデジタル人材の確保が必要になっていることから情報科学科の育成に期待したい。
高齢者が好きであれば採用はしたいが、情報化学科の勉強が直接活かされるかというところではない
世の中の DX 化や情報スピードの変化に対応できる人材としてはもちろんのこと、「対人」に関してのスキルも同時に醸成しながら学びを深めてほしい。

IT、IoT、DX など企業における IT リテラシーを学んでほしい
どこにでもある
弊社は検査装置の自社開発そしてソフトも自社開発を行っています。 基礎知識があれば様々なシーンで活躍が期待できます。 どの学部学科も協働力を身に付けた人間を目指していくことでどの分野でも活躍できると思っています。
情報分野は需要は大きいと聞いていますが、殆どが大都市勤務が多い。（リモートも含めて） お示しの3分野はITの技術（資格）とは少し異なるが、その内容が分からないと思います。 また「地域課題」に対応する人材が地域に残る工夫があれば良いと思います。
情報プログラマー等、今後ますます必要性が高くなるため
卒業される学生様の進路はPG、SE等が多いと想像致しますが、ある一定規模の会社ではどのような業界でも社内システムの保守管理、企画を行う社内SEのような人材を求めている企業は多いと思います。 学生様に対して「各種業界」×「大学で学んだこと」が活かせる企業も多くあるのだという事を知って頂く、またはご指導頂けると幸いに存じます。
・情報系の学科を普段している大学が多い中、福祉同様にどれだけ確保できるかが重要 ・理系の人材不足という観点からは非常に良いと思う。
プログラム言語も必要ですが、ハード面の勉強もして下さい。 サーバの構成、PCの組み立て、インフラの組み方など。 課題でアプリゲームを作るのも望ましいです。
デジタル人材は国内自体に少ないため、プログラミングの基礎知識をベースにツール導入に向けた企画力や新規サービスの創出など育成を期待します。
DXやIT化を望んでいて動けない企業が多数あります。 ベンチャーなど会社の大小でなく、やりたいことをすすめられる人材育成
ITスキルも大切だが、それを活かすためのコミュニケーションスキルも併せて学べるとよいと思う
福祉施設の分野でもIT化が進んでいます。 利用者情報、サービス内容等ほとんどがデータ化されています。 情報処理を正しく行い、今後の対応に活かしていけるのではないかと考えております。 いずれにしても現場を知らずして先には進めないなと思います。
・デジタル社会のこれからを支える人材を期待する ・CADデータなどの活用を考慮いただければ、建築系も幅広く社会に役立つのではないかと
情報系の資格取得を推奨いただきたいです。
経済（経理）関連知識も少しでも習得できれば良いと思います。
情報学科の方の採用も近年福祉業界ではIT化が進んできていますので必要になりつつあります。 介護記録もコンピューター化されていますし、レセプトも電子通信になっています。 徐々に必要とされるのではないのでしょうか。
弊社のグループ会社でも、IT関連の分野に力を入れておりますので 情報系に強い学生様がいらっしゃることは

情報を活かし商品販売していただける人材を育ててほしい。
ツールと講師次第かな？
今の時代は情報社会でありますので、ITなどを先に勉強していればなお多くの企業に求められると思います。
AI化に対応しうるリテラシーを持った学生を期待したい
弊社の社員の大半がエンジニアであるため、基本情報などの資格を有していないと就職活動時に専門学生に劣るため、資格の質、数に期待しております。 (特に主要都市の専門学校は資格数が多いです。)
システム系の即戦力を期待します。
情報化の現代、SE職は中小企業も求めています。 プログラミング基礎、WEBデザイン、アプリケーション開発、市販ソフトカスタマイズの知識を持つ人材となってほしい。
働き方の変化において、新技術などが出てくると思う。 それに対応する人材育成が望まれる。
自治体DXの推進に対応できる人材育成を期待する
・分析能力/・データ処理能力
育てた人材を地域に定着させる取り組みを学校全体で行ってほしい。
バックヤードの人材として
IT人材はこれからもっと必要だと思うので、期待大である。
データの活用において地域や企業がどのような問題を解決できるかを見つけて考える力も養われることを期待します。
義務教育学校との交流の推進
やはり4年間学んだ基礎がある方は、戦力としてぜひ来ていただきたい人材だと思います。 開発言語を学ぶ方は多いですが、サーバやネットワーク等ITインフラに強い方も多く求められている傾向です。ぜひ採用につながればと考えております。
最先端の技術の知識/技術系資格の取得
IoTやDX等、今後活用できる知識を習得されると良い。
介護とDXは今まさに求められるシナジーです。 入社後、現場の課題をしっかりと認識していただき、当社で活躍してくださることを期待しております。
メタバース等、中高年には理解しづらい時代となる。 情報格差が広がらないよう地域を底上げしてほしい。
専門的なスキルを習得して、福祉介護人材の社会での価値を高められることに期待したい
基礎的な知識だけでなく、実践的な知識を学んでもらい、即戦力のある学生さんを育てて欲しい。
DXを企業に取り込むことが必要な世の中、学んだことがすばやく実践に活かせる学びを提供してほしい。
3Dデータも扱える学生がいると頼もしいです(DX等がからんだ)

貴校のご卒業生を採用出来ることを楽しみにしています。
宿泊業において、IT やシステムは日進月歩で進んでおります。 これからの時代、「情報科学科」出身のホテルマンという人材がさらに求められてくると思われます。
・SNS で発信したいので、活躍してほしい ・数値などを Data 化して活用したい
弊社の事業内容と一致したところもありそうなので今後注目してみたいと思う
半導体分野のカリキュラム
・専門家不足が現在も言われており当分この傾向は続くと思われる
デジタル社会への切り替えがまだまだ進んでいないので貴学で学んだ学生は入社後は活かせると思いますが、要望に応えるための理解力、コミュニケーション力も必要なのでそこも学べると尚更良いと答えます。
DX は新たなビジネスモデルを創出していくことが期待でき、それを支える情報技術者の養成、IT を用いた課題解決能力のある人材養成に即した学部で期待できる
業種柄、弊社にニーズがないと考えます。
様々な情報収集力と分析力/それを自社マーケティングに活かせる人材
この4つの学科から弊社が求める人材はこの学科になると思います
IT システム等の知識を学生の皆様が身に付けられること
IT 社会で活躍する人材を育成されることを期待します。
数理系につよい人材を育成してほしい。
就職後、即戦力として活躍できるように実践的な教育を実施してほしい。 新たな技術、分野に柔軟に対応できるよう幅広い領域の基礎学習を作って欲しい。 学問のみならず、人間的にも成長できるような教育も取り入れて欲しい。
システムエンジニア養成へ向けての多彩なカリキュラムコースの拡充が必要だと思います。
・地元企業インターンシップへの参加（単位付与） ・学内企業説明会の開催（①一つの業界に特化 ②様々な業界を集める） ・地元企業とのコラボレーション（学生ならではの視点をいかした商品企画等） ・地元到新設される情報系の学部学科として、将来的なキャリアイメージ等含め情報交換を行いたい。
地方の会社は平均年齢が高い傾向にあるため、情報機器やシステムに関して困っている場合も多いと思いますので、若い方でそういった知識を持たれている学生さんの需要はかなり高いと考えます。
情報と経営を理解できると、IT 系の企業で役に立つと思います。 これからはどちらかの視点が欠けていると答えにたどりつかない可能性があります。
業界でも、デジタルソリューションの波が訪れている。他の企業体では考えられない最先端を走るエンジニアとして活躍していただきたい。
各方面で活躍が期待されています。責任のある仕事をやりとげられるよう知識を習得してもらいたいと思います。
パソコンを通しての経理のできる人材がほしい。施設において、今後は総務職員の役割は大きい。

<p>システム屋としてベンダーだけでなく各企業に新卒で（特に情報、IT 関連が弱い会社）なんでも屋さんとして入る人材も需要があるのではないか。</p> <p>地方の中小企業ではメールが使えないというのが当たり前であり、生産性の低下も招いて首都圏との差が広がる一方である。</p>
<p>現場の課題を的確に把握し粘り強く課題解決に取り組むことにより業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。</p>
<p>今後の社会で非常に重要で求められる知識、技能となってくると思います。</p> <p>少子化の中では少ない人数で生産性を高めて価値を生んでいく経営が求められ、その際にデジタルスキルは非常に役立ちます。</p> <p>具体的な技術を学ぶことももちろんですが、課題を発見し、その課題をどのようなソリューションで取り組むことがベストなのかを検討するような体験もしっかりと行ってほしいです。</p>
<p>ネットワーク、通信インフラの構造の知識に長けた人材の育成。無線の知識に長けた人材の育成。</p> <p>また、学生以外でもそういった講義が受けられるなら受講したい。</p>
<p>・システム関連については、地元中小企業にも採用の需要があると思われるので、地元の人材を地元採用できるような連携、仕組みづくり</p>
<p>一般常識も身に付ける コミュニケーション能力も</p>
<p>介護業界においても、ICT や最新機器等の活用でより一層データに基づいた根拠が求められています。情報科学科での学びはどの業界においてもニーズが高いかと思います。</p>
<p>具体的業務への情報機器の応用を中軸にする必要がある。</p>

全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第2位を四捨五入し記載。

問1 貴社・貴団体の主たる業種をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
建設業	84	10.7%
製造業	130	16.6%
電気、ガス、熱供給	6	0.8%
情報通信業	31	4.0%
運輸業、郵便業	30	3.8%
卸売業・小売業	128	16.4%
金融業・保険業	10	1.3%
不動産・物品賃貸業	14	1.8%
宿泊業、飲食サービス業	13	1.7%
生活関連サービス業	11	1.4%
その他サービス業	81	10.4%
教育・学習支援	19	2.4%
医療・病院	47	6.0%
社会福祉施設・事業所	121	15.5%
公務	21	2.7%
その他	34	4.3%
無回答	2	0.3%
合計	782	100.0%

問2 貴社・貴団体の所在地についてお教えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
北海道	3	0.4%
青森県	0	0.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	1	0.1%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
福島県	1	0.1%
茨城県	2	0.3%
栃木県	1	0.1%
群馬県	1	0.1%

埼玉県	4	0.5%
千葉県	4	0.5%
東京都	49	6.3%
神奈川県	3	0.4%
新潟県	1	0.1%
富山県	1	0.1%
石川県	0	0.0%
福井県	0	0.0%
山梨県	0	0.0%
長野県	0	0.0%
岐阜県	2	0.3%
静岡県	3	0.4%
愛知県	9	1.2%
三重県	1	0.1%
滋賀県	0	0.0%
京都府	7	0.9%
大阪府	20	2.6%
兵庫県	10	1.3%
奈良県	1	0.1%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	7	0.9%
島根県	9	1.2%
岡山県	21	2.7%
広島県	114	14.6%
山口県	377	48.2%
徳島県	3	0.4%
香川県	10	1.3%
愛媛県	17	2.2%
高知県	2	0.3%
福岡県	71	9.1%
佐賀県	3	0.4%
長崎県	1	0.1%
熊本県	3	0.4%
大分県	5	0.6%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	5	0.6%

沖縄県	0	0.0%
無回答	10	1.3%
合計	782	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員規模をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
～99人	306	39.1%
100～299人	203	26.0%
300～499人	80	10.2%
500～999人	74	9.5%
1,000人以上	100	12.8%
無回答	19	2.4%
合計	782	100.0%

問4 周南公立大学が設置構想中の経済経営学部「経済経営学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	433	55.4%
どちらとも言えない	310	39.6%
人材の社会的ニーズは高くない	36	4.6%
無回答	3	0.4%
合計	782	100.0%

問5 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	383	49.0%
採用しない	70	9.0%
わからない	328	41.9%
無回答	1	0.1%
合計	782	100.0%

問6 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1名	80	20.9%
2名	54	14.1%
3名	19	5.0%
4名	1	0.3%
5名以上	37	9.7%
人数は未定だが最低1名	190	49.6%
無回答	2	0.5%
合計	383	100.0%

問7 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	370	47.3%
どちらとも言えない	359	45.9%
人材の社会的ニーズは高くない	45	5.8%
無回答	8	1.0%
合計	782	100.0%

問8 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	282	36.1%
採用しない	114	14.6%
わからない	382	48.8%
無回答	4	0.5%
合計	782	100.0%

問9 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1名	44	15.6%
2名	40	14.2%
3名	11	3.9%
4名	4	1.4%
5名以上	33	11.7%
人数は未定だが最低1名	149	52.8%
無回答	1	0.4%
合計	282	100.0%

問10 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「福祉学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	601	76.9%
どちらとも言えない	166	21.2%
人材の社会的ニーズは高くない	10	1.3%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問11 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	297	38.0%
採用しない	125	16.0%
わからない	355	45.4%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問12 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1名	46	15.5%
2名	31	10.4%
3名	23	7.7%
4名	2	0.7%
5名以上	39	13.1%
人数は未定だが最低1名	155	52.2%
無回答	1	0.3%
合計	297	100.0%

問13 周南公立大学が設置構想中の情報科学部「情報科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	564	72.1%
どちらとも言えない	204	26.1%
人材の社会的ニーズは高くない	7	0.9%
無回答	7	0.9%
合計	782	100.0%

問14 情報科学部「情報科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	358	45.8%
採用しない	72	9.2%
わからない	347	44.4%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問15 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1名	106	29.6%
2名	30	8.4%
3名	12	3.4%
4名	3	0.8%
5名以上	30	8.4%
人数は未定だが最低1名	175	48.9%
無回答	2	0.6%
合計	358	100.0%

【資料】周南公立大学 3学部4学科 アンケート調査用紙



周南公立大学 新設学部学科設置構想についての採用意向アンケート調査 (対象：人事・採用ご担当者様)

周南公立大学（山口県周南市）は、2024年4月に経済経営学部「経済経営学科」、人間健康科学部「スポーツ健康科学科」、「福祉学科」、情報科学部「情報科学科」（すべて仮称）の開設を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様から率直なご意見をお伺いし、さらなる計画の充実を図って参りたいと考えております。ご回答いただいた情報は当該学部学科の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は周南公立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※リーフレット及びアンケートに記載されている当該学部学科の内容については予定であり、変更される可能性があります。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

記入は必ずシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
※正しい回答のように丁寧にマークしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。



問1 貴社・貴団体の主たる業種をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 製造業 | <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給 | <input type="radio"/> 情報通信業 |
| <input type="radio"/> 運輸業、郵便業 | <input type="radio"/> 卸売業・小売業 | <input type="radio"/> 金融業・保険業 | <input type="radio"/> 不動産・物品賃貸業 |
| <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業 | <input type="radio"/> 生活関連サービス業 | <input type="radio"/> その他サービス業 | <input type="radio"/> 教育・学習支援 |
| <input type="radio"/> 医療・病院 | <input type="radio"/> 社会福祉施設・事業所 | <input type="radio"/> 公務 | <input type="radio"/> その他 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> |

問2 貴社・貴団体の所在地についてお教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 福島県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 岐阜県 |
| <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 | <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 |
| <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 |
| <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 | <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 | <input type="radio"/> 沖縄県 | | |

問3 貴社・貴団体の従業員規模をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- ~99人 100~299人 300~499人 500~999人 1,000人以上

以降の設問は別紙リーフレットをご覧ください。

問4 周南公立大学が設置構想中の経済経営学部「経済経営学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

- 人材の社会的ニーズは高い どちらとも言えない 人材の社会的ニーズは高くない

問5 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 採用したい 採用しない わからない





<<問6は、問5で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問6 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

1名 2名 3名 4名 5名以上 人数は未定だが最低1名

問7 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われませんか（あてはまるもの1つにマーク）

人材の社会的ニーズは高い どちらとも言えない 人材の社会的ニーズは高くない

問8 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

採用したい 採用しない わからない

<<問9は、問8で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問9 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

1名 2名 3名 4名 5名以上 人数は未定だが最低1名

問10 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「福祉学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われませんか（あてはまるもの1つにマーク）

人材の社会的ニーズは高い どちらとも言えない 人材の社会的ニーズは高くない

問11 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

採用したい 採用しない わからない

<<問12は、問11で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問12 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

1名 2名 3名 4名 5名以上 人数は未定だが最低1名

問13 周南公立大学が設置構想中の情報科学部「情報科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われませんか（あてはまるもの1つにマーク）

人材の社会的ニーズは高い どちらとも言えない 人材の社会的ニーズは高くない

問14 情報科学部「情報科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

採用したい 採用しない わからない

<<問15は、問14で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問15 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

1名 2名 3名 4名 5名以上 人数は未定だが最低1名





以下の問16～問19では、周南公立大学が設置構想中の新設学部学科に対して期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

問 16 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）について

問 17 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）について

問 18 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）について

問 19 情報科学部「情報科学科」（仮称）について

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。



【資料】学部学科概要

地域の成長エンジンとして
 社会が求める人材を常に意識し
 生涯に渡って活かせる学びを提供します



2022年4月に
 開学しました！
 (旧徳山大学)

周南公立大学は 新しい学部学科を構想中です

学部名	学科名
経済学部	<ul style="list-style-type: none"> 現代経済学科 ビジネス戦略学科
福祉情報学部	<ul style="list-style-type: none"> 人間コミュニケーション学科

改編後

学部名	学科名
経済経営学部	<ul style="list-style-type: none"> 経済経営学科(160名)
情報科学部	<ul style="list-style-type: none"> 情報科学科(100名)
人間健康科学部	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ健康科学科(80名) 看護学科(80名) 福祉学科(60名)

2024年4月開設(仮称・設置構想中)
 ※記載の内容は現在計画中であり、変更される可能性があります。

2024年4月の 学部学科改編のポイント

- 3つの学部を開設、カリキュラムも一新
 これまでの学びを再編し、新しく情報科学や看護学が学べるように。2学部3学科制から3学部5学科制となり専門性の高い学びを提供
- 「地域に求められる」学びを調査・研究
 周南市の協力のもと、地元企業100社にアンケートを実施。必要とする人材像のアンケート結果をもとに、新学部・新学科を設置
- 学生たちの将来像に合わせた学びを展開
 学生たちが社会で活躍する20、30年後を意識した教育を提供し、将来像に向けて学生自らが意欲的に学べるカリキュラムを導入

学びの
特徴
1

「変化する時代」に対応するために 育てる"3つの力"

1 地域の課題×課題解決力

学生が主体となって地域の身近な問題を発見し、解決に向けての調査・分析をはじめ、具体的解決策の提案を行うまでの一連の手法を必修科目として学修します。全ての学生が、課題発見能力と解決能力を身につけます。

2 フィールドワーク×実践力

アーリー・エクスポージャー(早期体験実習)を通して、キャリア形成の意識醸成と、必要となる知識・技能への気付きを得ます。希望・適性を明確に把握して、進路を選択する力と実社会で必要な実践力を身につけます。

3 データ×情報活用能力

数理・データサイエンス・AIの基礎的素養に関する科目を通し、地域課題の発見・解決に重要な定量的な評価の手法を学修します。課題の把握、解決目標の設定を、エビデンスに基づき論理的に行う能力を身につけます。

2024年4月からの
新
学部・学科

※設置構想中
※学部、学科名は仮称

養成する 人材像

経済経営学部

経済経営学科

経済学、経営学の基礎・応用の学修を通して、地域社会の課題を発見し、解決方法を提言、実行できる地域社会の礎となる人材を養成



1 現代社会や企業経営の課題を発見、解決できる人材を養成

3つの履修プログラム(地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザイン)を用意し、各プログラムに沿って科目履修することで専門性を深めます。3つのプログラムを横断して履修し、知識や視野を広げることも可能です。

2 課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材を養成

少人数ゼミ(教養ゼミ、地域ゼミ、専門ゼミ・II)などにグループワークやフィールドワークを積極的に導入。課題解決や事業目的の達成に必要なリーダーシップを発揮し、他者と連携・協働できる力を養います。

こんな
キズに
-時代に合わせた情報分野もしっかり学びたい
-数値から世情を分析する力を身につけたい

めざせる資格

中学校教諭一級免許状(国)(社会)/高等学校教諭一級免許状(国)(地理歴史・公民)/高等学校教諭一級免許状(国)(商業)/経済学検定/統計検定ほか

想定される進路

公務員/金融機関/インフラ企業/公益企業/一般企業(地元企業等)/グローバル企業/製造業/商社/サービス業/商品開発/事業開発担当者/起業家/ビジネスコンサルタントほか

類似する大学・学部

山口大学経済学部、下関市立大学経済学部

情報科学部

情報科学科

地方創生に資するビジネスアナリスト、データサイエンティスト、情報エンジニアなど持続可能な地域産業を創るエキスパートを養成



1 これからのデジタル社会を支える情報技術者を養成

これからのデジタル社会を支える鍵となる、AI、データサイエンス、IoT、ビッグデータ解析、またこれらを活用したビジネス展開について学修し、ITの最前線で活躍するための実践的能力を身につけます。

2 ITを用いた課題解決能力のある人材を養成

「ビジネスアナリティクス」、「データサイエンス」、「情報エンジニアリング」の3分野において、IT系企業等で実務経験を積んだ教員から、ITで地域課題を発見・解決する手法を学び課題解決能力を身につけます。

こんな
キズに
-AI、データサイエンスなどに興味がある
-情報技術を学んで地域の発展に貢献したい

めざせる資格

データサイエンティスト検定/統計検定データサイエンス基礎/統計検定データサイエンス発展ほか

想定される進路

データアナリスト/プロジェクトマネージャー/ビジネスデザイナー/データサイエンティスト/データアナリスト/データエンジニア/システムエンジニア/プログラマー/ネットワークエンジニア/WEBエンジニアほか

類似する大学・学部

広島大学情報科学部、広島市立大学情報科学部

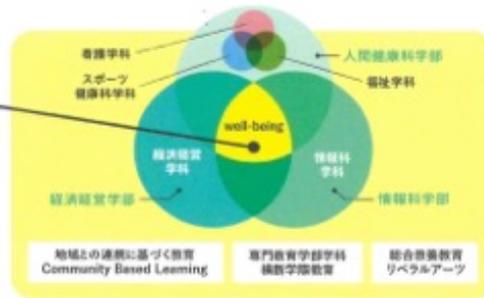
学びの特徴
2

地域のwell-being向上のために、
"他業種協働"を推進

well-being

個人の権利や自己実現が保障され、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念。幸福と翻訳されることも多い。

自分の学部における専門分野だけではなく、他分野の科目を履修することで幅広い学びを得ることができます。



連携の例

- 経営・情報の理論を習得し、仮説・検証・データに基づく企業経営に貢献できる人材の育成
- データ分析を得意とし、エビデンスに基づく医療・福祉・健康増進を提供できる人材をめざす
- 今後の発展が見込まれる健康産業に関する、確かな知識・視点を有する経営者をめざす

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

多様な健康状態、生活環境にある人々に専門知識と技能をもって身体運動を促進させ、健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成



1 人と人をつなぐ、地域健康増進のリーダーを養成
「健康運動」「アスリートサポート」「スポーツ健康マネジメント」の3つの履修プログラムを設け、身体運動を通じて学びの場でもある地域社会と積極的に関わり、人と人との交流を促進するリーダーを養成します。

2 地域住民の健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成
人々の健康で幸福な生活の実現にとって不可欠な、医学・保健衛生学の基礎を学び、これらと密接に関わるスポーツ健康科学を基礎から応用まで体系的に学ぶことで、地域の健康寿命の延伸に貢献できる能力を養います。

こんな考えに
-公立大学でスポーツ健康科学を学びたい
-スポーツで地域を活性化させたい

めざせる資格
中学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/健康運動実践指導者受験資格/健康運動指導士受験資格/公認スポーツ指導者資格/アシスタントマネジャー受験資格ほか

想定される進路
病院や福祉施設、健康増進施設等での運動指導/トップスポーツ選手のコンディショニングケア/地域で展開されるスポーツクラブの運営/スポーツの団体・選手を支えるスポーツメーカーほか

類似する大学・学部
名城大学人間健康学部

看護学科

人々が病気や障がいの有無にかかわらず、生涯にわたって、その人らしい豊かな健康生活を実現することを支える看護師の養成



1 複雑化・多様化する保健医療提供体制に対応できる人材
あらゆる健康状態の人々に対する看護場面を再現したシミュレーション教育および医療機関、在宅ケア、地域のさまざまな保健福祉施設での実習を通して、ひとり一人に応じた質の高い看護実践能力を身につけます。

2 地域の健康生活を創生する実践力を備えた人材
チーム医療における多職種との連携はもとより他職種との連携を学ぶことによって、地域の保健、医療における課題を見出し、あらゆる健康状態にある地域住民の豊かな健康生活をつくり出す実践力を身につけます。

こんな考えに
-専攻の力で病気や障がいをもつ人を支えたい
-他職種と協働し地域の健康生活を支えたい

めざせる資格
看護師(国)受験資格/保健師(国)受験資格(選択型選択)/第一種衛生管理員(国)(保健師養成課程修業者のみ)/看護教諭二種免許状(国)(保健師養成課程修業者のみ)

想定される進路
医療機関(病院・診療所)/保健所/保健センター/訪問看護ステーション/地域包括支援センター/企業の健康増進センター/進学(大学院、助産師養成所)ほか

類似する大学・学部
山口県立大学看護実践学部、県立広島大学保健福祉学部

福祉学科

福祉の視点から地域を繋ぎ、さまざまな社会的資源を用いることで地域課題を解決できる、福祉力のある人材を養成



1 福祉力のあるコンシェルジュ・福祉力のある生活の案内人
ソーシャルワークを基盤に保育や介護といったケアワークの専門知識や技能を備え、どのような健康状態にあっても、誰しも、住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らすための福祉支援を提供できる能力を身につけます。

2 地域資源を活かし円滑な地域づくりに寄与する人材を養成
地域課題を発見し、解決に必要な地域資源と結びつけるネットワークの構築能力はもとより、独自に社会的資源を作り出すための鋭い洞察力および柔軟な発想力の素地と、高いコミュニケーション能力を身につけます。

こんな考えに
-地域と連携した、実践的福祉を学びたい
-多様な世代の人に関わる福祉を学びたい

めざせる資格
社会福祉士(国)受験資格/社会福祉士主任任用資格/保育士(国)受験資格(選択制)/介護職員初任者研修(選択制)

想定される進路
児童相談所(児童福祉司)/児童福祉施設(児童指導員)/地域包括支援センター(社会福祉士)/介護保険施設(生活相談員)/社会福祉協議会(福祉活動専門員)/公立・民間保育所(保育士)/福祉関連産業の企業ほか

類似する大学・学部
山口県立大学社会福祉学部、高知県立大学社会福祉学部

入学金・授業料 (2022年度実績)

	入学金	授業料
市外在住の方	282,000円	535,800円
市内在住の方	141,000円	

※市内在住の方とは、次のいずれかに該当する方です。

(1)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に住所を有する方 (2)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に配偶者または1親等の親族が住所を有する方
※入学金・授業料以外に課金費(120,000円程度、1年次のみ)の納入が別途必要となります。 ※その他、教科書代や学外実習費などが別途必要となります。

公立化、
学部学科
改編

周南公立大学は変わり続けます

本学のめざす未来

MISSION〈使命〉

地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」となる

VISION〈めざす姿〉

地域に根差し、地域の課題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、地域が誇りに思う「地域に輝く大学」となる

VALUE〈価値観・判断の基準〉

学生のためになるかどうか、地域の発展につながるかどうか

教育・研究・社会貢献を通して地域のwell-beingを高めるべく、周南公立大学は邁進していきます。

The Latest News!

新校舎建設予定(2024年)



Access

「徳山」駅から「久米温泉口」または「ひばりヶ丘」バス20分
大学高専下 下車 徒歩3分

山陽自動車道「徳山東1.C」より
車で5分



お問い合わせ

法人経営課

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2 TEL:0834-28-4600